

第38回 DAAS運営委員会 議事(案)

□日 時:2019年7月11日(木) 15:00~16:30(予定)

□場所:公益財団法人 建築技術教育普及センター内 第4会議室

千代田区紀尾井町3-6 紀尾井町パークビル3F

TEL:050-3786-0568 DAAS 事務局

□ 議 事:

[報告事項]

運営に関して:これまでの打合せ報告

資料1

国土交通省への提出資料(2019/4/17および2019/6/3)

資料2

[承認事項]

第13期総会資料・第6回理事会資料一式(修正)

別紙

配布資料:

第38回DAAS運営委員会資料

第13期総会資料・第6回理事会資料一式

第37回DAAS運営委員会議事要旨

運営に関して:これまでの打合せ報告

2018 年 10 月 3 日 三塩委員 日本設計様への資料:DAAS の今後について、提出と打合せ

出席者: 三塩委員・武藤

場 所:紀尾井町

2018 年 10 月 12 日 国土交通省 へ DAAS の現状(予算等)今後の運営について打合せ

出席者:国土交通省 佐々木企画専門官・伊東課長補佐／DAAS 本多委員長・武藤

場 所:国土交通省

- ・ 事業継承にかかる著作権の整理、手続の確認等

2018 年 11 月 8 日 司法書士事務所へ 事業譲渡に係る手続の確認と相談

出席者:醍醐香／DAAS・武藤

場 所:醍醐香司法書士事務所

- ・ 著作権整理については事業譲渡、合併、吸収等いずれも必要であり、DAASについては事業譲渡ではなく資料譲渡となりえるとのこと

2018 年 12 月 9 日 Web サイトの遷移方法、管理システム側の一部改修実装

2018 年 12 月 19 日 第 37 回 DAAS 運営委員会 総会資料承認

2019 年 2 月 21 日 次期理事長の依頼、DAAS の現状説明

出席者:仙田満氏、竺覚暁氏、武藤

場 所: 金沢工業大学

内 容: まとめ

1. 今後の運営についての検討案

案1DAASを解散 NPO 法人文化継承機構で資料を引き受ける(会員が減少・“任意団体”の継続が難しいことから)

- (ア) 最低限必要な費用:サーバー維持・管理費用 100 万～200 万程度
- (イ) 国土交通省に補助金継続の依頼を行う。最大限のバックアップをしてもらう。

案2DAAS が NPO に完全統合

- (ア) 実施的事業を NPO が引き受ける
- (イ) 国土交通省に補助金継続の依頼を行う。最大限のバックアップをしてもらう。
- (ウ) NPO 法人は現状定期的会員組織になっていない。DAAS 会員が NPO 法人に移行出来ればメリットになる。活動の幅が広がる実質的な運営を行っている建築画報社への説明も必要
- (エ) 移行段階で会員も増員できるような働きかけを(小さな設計事務所など)
- (エ) 金沢工業大学がサーバーの維持・管理を担当する。
- (オ) 国交省関連団体は 20 万でも 可能ではないだろうか。企業の会費減額が必要
- (カ) NPO 内“DAAS 事業”としてすすめる。
- (キ) 和泉氏への継続についての相談を

案3DAAS が国交省管轄の団体の元で継続

(ク) 国交省から所轄の財団へ要請を行い、アーカイブの拠点活動を継続してやってもらう

以上、**案1**～**案3**のパターンを検討するし、いづれにせよ、内閣府 和泉氏にも引き続きの支援を要請

- ・ 笠理事長、仙田代表(NPO 法人文化継承機構)とで訪問する。

2. 近々の宿題として

- ・ まずは国交省の支援の継続(会員継続のためにも)が必要
- ・ 和泉氏(内閣府)での面談の日程調整を(笠理事長+NPO の代表としての仙田氏で相談)
- ・ 新しい会員を増やす為にも声がけをしたい

2018 年 10 月～2019 年 3 月日まで 補助金事業実施

オーラルアーカイブ：青木淳氏（京都、東京、千葉、青森での撮影）

デジタルデータ化作業：元倉真琴氏図面資料

VR コンテンツ：築地事務所等

Web 改修

2019 年 4 月 12 日 内閣総理大臣補佐官への DAAS の現状説明

出席者：和泉洋人氏、宮森剛氏(秘書官)、仙田満氏、笠覚暁氏、本多運営委員長、武藤

場 所：総理大臣官邸

DAAS の現状説明・仙田氏からの今後の意向、意見交換

2019 年 4 月 16 日 国土交通省 建築指導課より資料提出の要請

(内容は **資料 2** 2019/4/17 国土交通省提出資料 参照)

2019 年 5 月補助金にかかる見積書提出(前年度同等にて契約予定)

2019 年 5 月 15 日 国土交通省 建築指導課より資料提出の要請

(内容は **資料 2** 2019/6/3 修正資料 参照)

(2019 年 5 月 国土交通省 建築指導課より五会への要請)

2019 年 7 月補助金にかかる契約書の提出

2019 年 7 月 9 日 国土交通省 建築指導課の意向確認

出席者：佐々木建築設計環境適正化推進官、伊東課長補佐、田伏翔一氏、本多運営委員長、武藤

場 所：国土交通省

- ・ 国土交通省から五会への働きかけについて、国交省の意向確認
 - ”国土交通省がDAASをどうするかと判断する立場にない”。会員、民間での運営が厳しい中、まさに重要なのは、設計業界、建築業界として「どうしたいか」彼らが引っ張っていけるのならそれで良い

2019年4月17日国土交通省提出資料

1. DAAS 今後の運営体制(案)

(ア) 第 13 期(総会開催後)、第 14 期理事長について

仙田満氏(環境デザイン研究所会長、NPO 法人建築文化継承機構代表 JIA-KIT アーカイヴスで設立した NPO 法人代表)より快諾を得る。

(2 月下旬、笠理事長、仙田氏打ち合わせにて)

笠理事長は顧問として引き続き DAAS の運営への助言をする。

(イ) 仙田氏、笠理事長からの運営提案(3案)※いづれも、会員の入会動機が国土交通省であることが影響している為継続的な国土交通省のバックアップも不可欠

① DAAS のサービスを継続し、NPO 法人建築文化継承機構に統合(DAAS 会員を NPO 会員として移行できれば双方へのメリットがある)

- 事業の検討として:ビデオコンテンツの事業化、委託業務案(教育用コンテンツなど)
- NPO 法人移行に伴う新規会員の拡充(個人事務所)
- DAAS-Web 維持費年間 100-200 万が必須。
- 金沢工業大学から Web サイトの維持・管理支援を受ける。

② 国土交通省傘下の団体のもとで人的、費用的支援を受け DAAS 活動を存続

- アーカイブ活動の拠点を傘下財団に依頼する。
- 例) 公益財団法人建築技術教育普及センター等で DAAS 事業を継続してもらう。教育用コンテンツ制作事業を DAAS で請け負う、など。

③ DAAS-Web サイトのみ存続。サーバーの維持・管理費のみの収入を確保。

- 年間 100-200 万の費用を確保することで NPO 法人でのサイトの維持管理のみ継続する。

(ウ) DAAS 会費・運営費について

① 来期(第 14 期)補助金収入がない場合実質的活動は休止し、期末には繰越金の残額がなくなる見込み。単年度赤字が続いており、第 15 期運営は危機的状況となる。

2. 法人化や事業譲渡等についての調査(司法書士・会計士からの意見等含)

(ア) DAAS の合併・統合・事業譲渡手続きの課題

① “事業譲渡”にはあたらない、“資料譲渡”という判断になる見込み

- 合併、統合の場合、資料の著作者全員への確認が必要

② 合併・統合:本来はすべて権利が承継されるが、合併・統合先と同様の法人格が必要。一旦 DAAS(任意団体)から法人格を取得する際に、著作者への確認が必要となるため

(イ) 著作者への確認が不要なケース

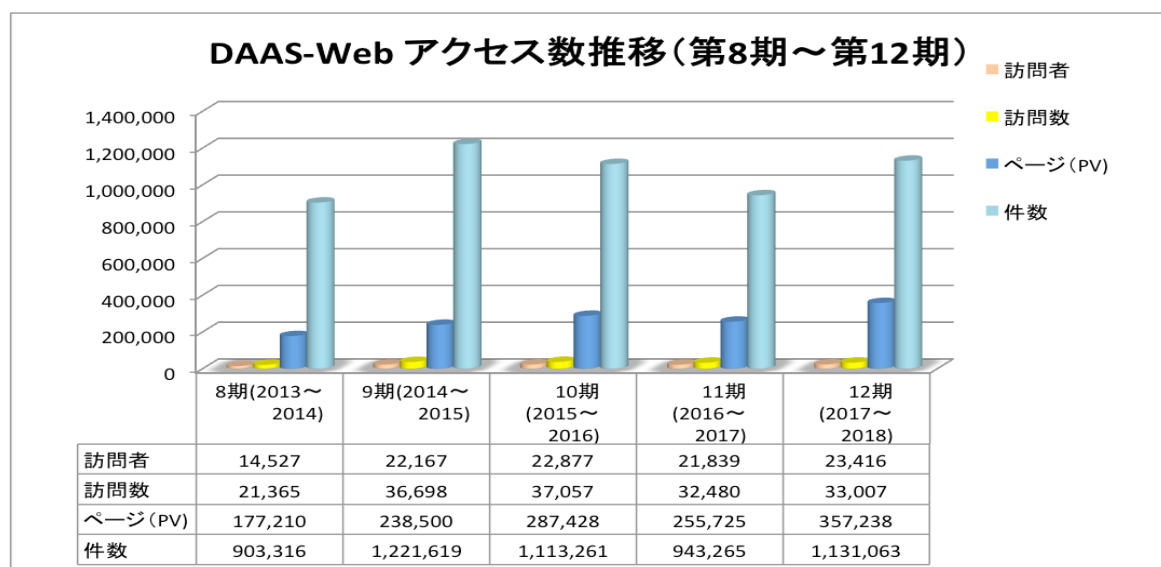
- ① 保管のみを前提に 他団体で資料を預かってもらう(但し Web サイトでの資料公開は不可)
- ② DAAS としてこのまま継続・運営を最小限とする(運営はいづれかにまかせる)
※規約改定が必要。

(ウ) 資料の資産価値・資料を譲り受けた先の税金等について

- ① 明確な費用検討は、DAAS の今後を明確になってから。経営判断によるところであり、いかようにでも判断出来る部分もあり、なんともいえない、という回答
- ② 譲渡問題: 資料譲渡、資料継承にかかる、受取側の税金は、DAAS がどのように相手方に譲渡、継承するかによる。著作権価格について会計士、税理士、弁理士に依頼して作ってもらうことは可能。一般的に、会社の場合、購入時、売却時の差異に対し受取側に税金が発生。0 円という価格とし、受取先に税金がかからないようにもできると思われる、解散前提、というところは注意が必要。要相談。
- ③ DAAS の事業検討: 委託業務、収入事業について安定した事業でない限り、都度届出が必要。法人税未納問題にもかかる事項。
- ④ 相手先団体の検討
 - 国土交通省図書館(行政機関)
 - 文化庁 近現代建築資料館(行政機関の一部の部署として現在運営を行っている)
 - NPO 法人(同様の建築資料の保全と活用をする団体)※NPO 法人建築文化継承機構など
 - 当方の会員団体: 建築関連団体(一般社団法人・一般財団法人)

3. DAAS-Web サイト閲覧数推移(第8期～第12期まとめ)

	第 8 期 (2013～2014)	第 9 期 (2014～2015)	第 10 期 (2015～2016)	第 11 期 (2016～2017)	第 12 期 (2017～2018)
訪問者	14,527	22,167	22,877	21,839	23,416
訪問数	21,365	36,698	37,057	32,480	33,007
ページ(PV)	177,210	238,500	287,428	255,725	357,238
件数	903,316	1,221,619	1,113,261	943,265	1,131,063



訪問者 橙	当月内にアクセスのあったユニークなIPの数です。 同じIPであれば複数回のアクセスがあった場合でも、1回とカウントされます。
訪問数 黄	当月内にアクセスのあったIPの、総数です。 上記と違い、複数回訪れたIPは、その回数分カウントされます。
ページ数 青	一般に、ページビュー（PV）と呼ばれるものです。 サイトのアクセス数の指標として最もよく利用されるものです。
件数 水色	アクセスされた、ページ、画像等、すべてのファイルの閲覧総数です。 存在しないファイル名へのアクセス、エラーなどはカウントされません。

4. 高解像度画像の提供数、資料の貸し出し実績

第 8 期 (2013～2014)	第 9 期 (2014～2015)	第 10 期 (2015～2016)	第 11 期 (2016～2017)	第 12 期 (2017～2018)
＜別紙参照＞				

5. データ提供（有料）の場合の価格表及びDAASと新建築社の利益配分

- (ア) 新建築社設定の費用に揃えている。（利用用途・サイズによる）
※新建築社直接提供する場合とDAAから提供する場合の差異をさけるため。
<https://shinkenichiku.online/img/2018/12/PriceListA.pdf>
- (イ) (ア)の費用をDAASと新建築社で折半することとしている。
- (ウ) 現状、DAAS への写真申し込みは新建築分のみ

6. JIAーKIT建築アーカイヴスについて（2007 年 3 月設立）

日本建築家協会(JIA)および金沢工業大学で設立したアーカイヴ。資料の整理、保管は金沢工業大学建築アーカイヴス研究所が行なっている。
<https://wwwr.kanazawa-it.ac.jp/archi/katudougaiyou/katudougaiyou.html>

7. 株式会社 エスエスについて

建築写真撮影、映像企画制作等を行なっている。<http://www.ss-multi.co.jp/>

8. 資料以外の DAAS コンテンツ（ビデオ編:youtube ページ移行中）

<https://www.youtube.com/channel/UCJn-yPGw6Vh1tax1Tc1kSDQ/>

掲載ページ	出演	内容	作成年月日
活動紹介	村上周三氏(日本建築学会会長),宮本忠長氏(日本建築士会連合会会長),吉田信之氏(新建築社取締役社長),奥村昭雄氏(東京藝術大学名誉教授),森晃一氏(ライト建築アーカイブス日本代表理事),上田千秋氏(日本放送協会マルチメディア局長),南迫哲也氏(ライト建築アーカイブス日本副代表理事),Richard Rogers氏(建築家),隈研吾氏(建築家)	活動紹介	2005年10月
特集企画	槇文彦氏(DAAS理事長)	インタビュー	2006年12月
イベント報告	菊竹清訓氏	4k映像システム 高精細建築画像のタベ	2007年5月
イベント報告	撮影取材	清家清作「宮城教授の家」	2007年5月
イベント報告	デジタル卒業設計大賞2007	応募作品の一覧	2007年9月
イベント報告	デジタル卒業設計大賞2007(隈研吾氏)	受賞者との懇親会風景	2008年3月
イベント報告	デジタル卒業設計大賞2008(六角鬼丈氏)	受賞者との懇親会風景	2009年4月
特集企画	池原義郎氏	作品を語る	2009年10月
特集企画	難波和彦氏	作品を語る	2009年10月
特集企画	古谷誠章氏	作品を語る	2009年11月
特集企画	内田祥哉氏	GUPについて	2009年10月
特集企画	池田武邦氏	作品を語る	2009年10月
特集企画	内田祥哉氏(英語字幕版)	インタビュー(英訳版)	2011年9月
特集企画	池田武邦氏(英語字幕版)	インタビュー(英訳版)	2011年9月
イベント報告	UIA2011TOKYO イベントビデオ	session1 本江正茂×赤松佳珠子	2012年3月
イベント報告	UIA2011TOKYO イベントビデオ	session2 赤松佳珠子×磯達雄	2012年3月
イベント報告	UIA2011TOKYO イベントビデオ	session3 磯達雄×渡邊英徳	2012年3月
イベント報告	UIA2011TOKYO イベントビデオ	session4 渡邊英徳×大山顕	2012年3月
イベント報告	UIA2011TOKYO イベントビデオ	session5 大山顕×倉方俊輔	2012年3月
イベント報告	UIA2011TOKYO イベントビデオ	session6 倉方俊輔×本江正茂	2012年3月
特集企画	鈴木博之氏	DAASの理事長として	2014年3月
特集企画	渡邊英徳氏	アーカイブについて語る	2014年3月
特集企画	藤岡洋保氏	アーカイブについて語る	2014年3月
特集企画	北郷悟氏	アーカイブについて語る	2014年3月
特集企画	芦原太郎氏	アーカイブについて語る	2015年3月
イベント報告	デジタル卒業設計大賞2014芦原太郎氏	受賞者との懇親会風景	2015年3月
特集企画	今里隆氏	作品を語る	2015年4月
特集企画	仙田満氏	作品を語る	2016年1月
特集企画	長谷川逸子氏	作品を語る	2017年2月
特集企画	青木淳氏	作品を語る	編集中

Web サイトでの公開に加え DVD を関係者、会員等へ配布



ビデオ完成時、建物の取り壊しの情報があった場合に設計者の設計意図などを伝える為、facebook、twitter で告知している(菊竹清訓氏、出雲大社庁の舎、旧都城市民館 等)
(youtube 過去 28 日のアクセス数)



9. 資料以外の DAAS コンテンツ (VR,エッセイ等)

<http://www.daas.jp/360panorama>

360度全天球型VR
築地市場(事務所棟)
法政大学55/58年館
銀座ソニービルディング
国立屋内総合競技場(代々木体育館)
旧 東急東横線渋谷駅
明治神宮外苑 聖徳記念絵画館前
銀座シネパトス
池田武邦自邸
朝陽館本家
中山邸(宮脇檀設計)
四谷コーポラス
嵐山カントリークラブ(天野太郎)保全改修

エッセイ
おでかけダース 第1回
建築語ログ
けんちくアーカイブ
松村秀一:住宅生産革命児たちの夢の跡

<http://www.daas.jp/ebook>

電子書籍
地域再生復興プロジェクト(宮城大学)
迎賓館赤坂宮天井絵画修復報告書

参考: 法政大学 55/58 号館の facebook のリーチ数 1,951 人(2018 年 2 月投稿)

仙田満氏動画公開 facebook のリーチ数 1202 人(2018 年 2 月投稿)

公開済みの投稿						
■ リーチ: オーガニック / 有料 ■ 投稿クリック数 ■ リアクション、コメント、シェア ■						
公開日時	投稿	タイプ	ターゲット設定	リーチ i	エンゲージメント	ステータス
2019/04/03 12:05	 「普段は入れない空間をWebで、スマホで疑似体験！」ー			74 ■	4 3	投稿を宣伝
2019/04/03 11:15	 「失われた建物をWebで、スマホで、空間体験」ーDAAS VRコ			81 ■	2 3	投稿を宣伝
2019/03/01 10:21	 "都城力タツムリくんと一緒に！ 都城市民会館1000の記憶プロ			69 ■	6 4	投稿を宣伝
2019/02/08 10:53	 【DAAS_VR 法政大55/58年 館】こちらもすでに取り壊さ			2K ■	172 105	投稿を宣伝


DAAS 建築・空間デジタルアーカイブス Digital Archives for Architectural Space consortium

作成者: 畠 奈津子 中林 [?] · 2018年4月4日 · 東京都 千代田区 · 

【DAAS interview vol.013 仙田満氏 公開しました！】会員登録不要で動画が見られるようになりました！ぜひご覧ください。
<http://www.daas.jp/video/mitsurusenda.html>
 ロケーション撮影は国際教養大学/aiuさんに協力頂きました。
 ありがとうございました。

#国際教養大学中嶋記念図書館 #環境デザイン #遊環構造7つの条件 #野中
 保育園、#浜松科学館、#やらまいか精神 #広島市民球場、#次世代への継
 承 #若い人へ引き継ぐ #NPO文化継承機構



投稿のパフォーマンス

1,202 リーチした人数

41 リアクション、コメント、シェア i

24  いいね！	5 投稿	19 シェア
8  超いいね！	1 投稿	7 シェア
5 コメント	0 投稿	5 シェア
4 シェア	4 投稿	0 シェア

62 投稿クリック

8 写真表示数	10 リンクのクリック i	44 その他のクリック i
------------	--	--

否定的な意見

0 投稿を非表示	0 全投稿を非表示
0 スパムと報告	0 いいね！取り消し

10.DAAS 資料の著作権整理状況

作業内容	作業詳細		作業進捗				備考
			作業対象数	作業数終了数	進捗率(%)	作業時間	
1.著作者整理	データベース整理 【合計】		11,927	11,927	100%	-	月
	対象法人・個人内訳	法人分	7,593	7,593	64%		
		新建築社分	1,068	1,068	9%		
		JIA-KITアーカイブス	288	288	2%		
		エスエス	231	231	2%		
		その他法人資料	999	999	8%		
		個人分	23	23	0%		
		海外の写真家	1,388	1,388	12%		
		その他	338	338	3%		
		法人・個人 いづれかの可能性もあり					
2.連絡先整理	データベース整理 【合計】		11,927	8,949	75%		月
	対象法人・個人内訳	法人分	7,593	7,593	64%	-	
		新建築社分	1,068	1,068	9%	-	
		JIA-KITアーカイブス	288	288	2%	-	
		エスエス		0	0%		
		その他法人資料		0	0%		
		個人分		0	0%		
		個人写真家		0	0%		
		海外の写真家		0	0%		
		法人・個人 いづれかの可能性もあり		0	0%		
3.保護期限/仮保護期間設定	期限設定 【合計】		11,927	6,163	52%		月
	作業内容	データベースから		6,005	0%		
		発表年確認分(法人著作分)		9	0%		
		竣工年確認分(法人著作分)		0	0%		
		調査(インターネット)		149	0%		
		建物の竣工年調査		0	0%		
		個人写真家の生存有無		0	0%		
4.以上の1～3の情報をリスト化	仮保護期間の設定			0	0%		月
	ルールを設定し仮期間の設定			0	0%		
	連絡先リスト作成				0%		月
	保護期間及び(仮)保護期間リスト作成				0%		

2018 年提出後整理をしていましたが、数字に差異出ており、その原因を確認できません。
10月分のまま提出いたします。申し訳ありません。

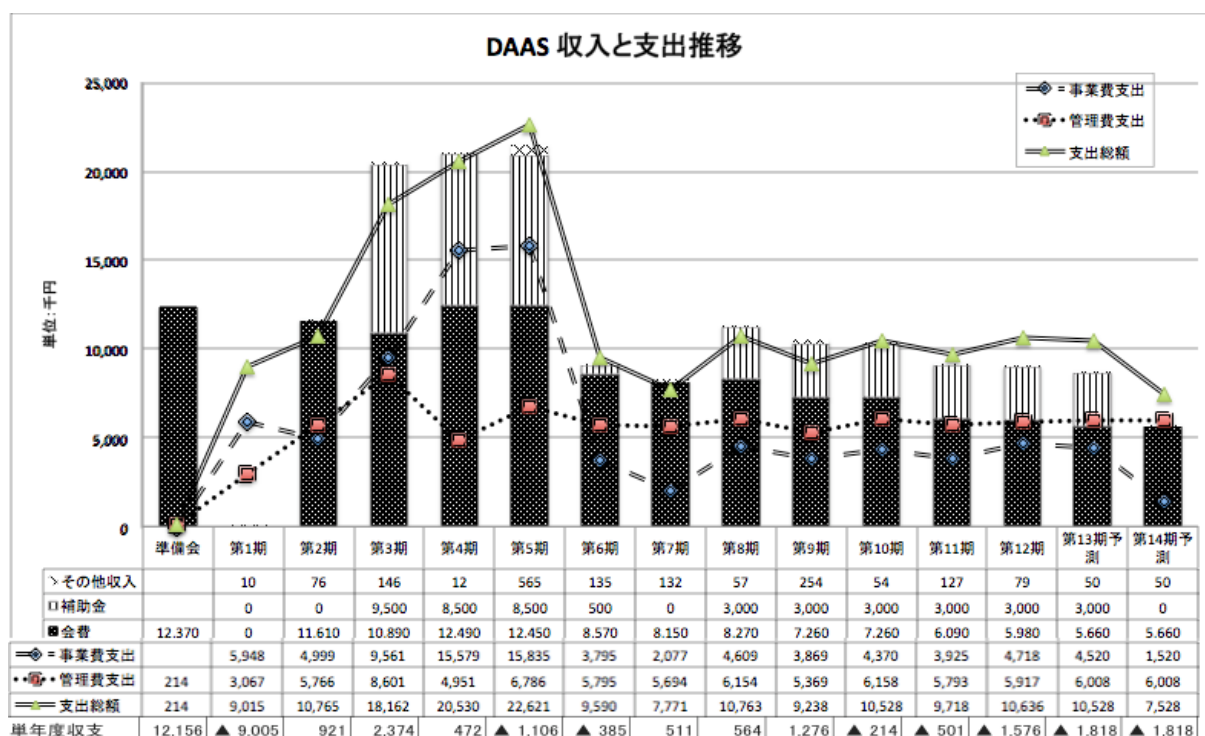
以下、2019 年 4 月 12 日 内閣総理大臣補佐官 和泉様との面談資料(抜粋)

1. DAASの事業(現状)

- ① Webサイトの維持・運営
- ② 国費によりデジタル収蔵した写真等コンテンツの高精細画像データの運用・維持・保全
コンテンツ:写真図面等12,000点
写真解像度:1200dpi6,000pixel×4,000pixel、施設概要、地図上のプロット,etc
- ③ 新規コンテンツ制作 (※国庫補助金での実施のみ)

2. DAASの会費・運営状況

- ① 会員数は 30 程度
 - (ア) 会費減額等を実施するも、退会希望会員が増加しつづけている状況。
 - (イ) 会員へのメリットがない。
 - (ウ) 写真利用の際の金額を半減する程度
- ② 事業費規模 900 万円 内訳
 - (ア) 前述の事業①②に対し 会費事業収入 600 万を充当※設立時 1,200 万から半減
 - (イ) 補助金がある場合、新規コンテンツを制作、その場合の事業支出総額 1,030 万
 - (ウ) 管理費(事務所経費・光熱費)は建築技術教育普及センターに事務局を置き無償
 - (エ) 収支は数年間単年度赤字の状態が続いている
- ③ 補助金
 - (ア) 300 万を新規コンテンツ制作に利用(2019 年 3 月まで 5 年間で一旦終了)
→補助金がない場合、実質的な活動が休止(会員支援にも影響する)



④ 懸念点

(ア) 補助金の継続

(イ) コンソーシアム形式(会費運営)の継続

- ・ 会費額が大きすぎるとの企業側の意見

(ウ) 安定した収入事業

- ・ 現状、新建築社の写真利用費用(新建築社と折半) 現状数万～数十万／年

(エ) 資料の維持

- ・ 国立近現代建築資料館懸案事項へ預ける案→芦原元理事長が相談したが受入は叶わなかった
- ・ NPO 法人 建築文化継承機構へ預ける案(メンテナンスは金沢工業大学:現状 DAAS-Web のサーバーはレンタルサーバー とあわせ Web 制作会社での保守を行っている)

⑤ デジタル資料の保管状況と著作権の状況

- (ア) 新建築社とDAAS双方で高精細データを保管。※新建築はコンテンツの価値がまだあるといおことで著作権・使用権の許可をしていない。ただし、1960年代は著作権の保護期間が切れているものもある。

- (イ) 同様に、写真・図面コンテンツは、著作者が著作権使用権を保持。

- (ウ) 設立時 6,000 点の写真が 2011UIA までに国庫補助金を3年間活用し 12,000 点の図面・写真に拡大

- (エ) そのほか DAAS が独自で制作したコンテンツ有(著作者:DAAS):VR、ビデオ、エッセイなどがある。

3. DAASの今後についての案

(現状以下4案[A-1], [A-2], [B-1], [B-2]を国土交通省に提出、仙田氏との面談でも同様の案が検討されたが、[A-1], [A-2](NPO法人での継続・国交省所轄財団での継続)に意見をまとめた)

A: DAASの事業を継続(国庫補助を見込めない場合も視野に入れる)

[A-1]: DAASのコンソーシアム形式を継続し事業、サービスを継続

[A-2]: DAASを解散し他団体でDAAS事業、サービスを継続

B: 資料の永続的な保管場所のみ確保

[B-1]: 国交省もしくは関連団体・機関で資料を保管(資料の永続的な保管場所のみ確保)

[B-2]: 文化庁で資料を保管。(資料の永続的な保管場所のみ確保)

4. 前述の選択肢の可能性、課題等(可能性の高い順で整理)

[A-1]: コンソーシアム形式を継続し事業、サービスを継続

- ・ **コンソーシアムに参画する会員の会費により上記事業①、②を継続**。※会員継続は「DAASを引き受ける法人」の費用負担軽減のためであり会費を大幅に縮小することも含む
費用目安:最低限、Webサイトの保守、維持費、WG報告書(5-2:今後のDAASが目指すもの p22-23シミュレーションを現状に改訂したものを本書類に添付)
具体的費用規模:175万円程度 会費1口32万→10万以下で検討 法人負担
- ・ DAASが任意団体で現状を維持・継続という選択肢は否定的な意見が多く、**法人格等を有する機関が任意団体「DAAS」を維持・運営する方法が現実的**と考える。
- ・ JIA-KIT建築アーカイブスを運営するNPO法人建築文化継承機構代表仙田氏、KITに交渉

A-2: DAASを解散し、他団体でDAAS事業を継続

- ・ **コンソーシアムを解散し**、上記事業①、②を継続(この場合の「他団体」は、規約第51条に基づき「類似の目的を有する公益団体」への「寄付」となる。これによらない場合は規約改定が必要)
- ・ 法人格を有する機関へ完全統合あるいは完全内包(1機関の内にDAAS業務を行う部署が存在する等。①の事業承継によりDAASが受けた「DAAS-Webサイトでの公開許諾も承継される」ことが前提)
- ・ 現状JIA-KIT建築アーカイブスを運営するNPO法人建築文化継承機構代表仙田氏、KITに **A-1**の状況で交渉。**ただし運営費負担が大きい場合永続的な保管+NPOでの運用を検討**
- ・ **国交省所轄の財団でアーカイブの拠点活動を継続**してもらう。
- ・ **補助金の継続、国土交通省の最大限のバックアップが必要**
- ・ NPO法人は現状定期的会員組織となっていない。DAAS会員のNPO法人移行が可能であればメリットがある。**この場合も国土交通省から現会員、その他業界組織へのバックアップが必要**
- ・ 移行に際し、**個人事務所などが増員できるような仕組みと働きかけが必要**
- ・ 実質的なNPO運営は金沢工業大学 サーバーの維持・管理を担当することになる。

B-1 国交省もしくは関連団体・機関で資料を保管(資料の永続的な保管場所のみ確保)

- ・ **コンソーシアムを解散し**、②の運用を除いた維持・保全のみを実施(国費整備による高詳細画像データを保管したハードディスクの二重保管のみの事業。)候補:NPO, 国交省の図書館など
- ・ 引き受け先によっては、**美術館等からの二次利用許諾手続きには応じられない**ことも想定。
- ・ この場合会員企業としては「実質的な活動が見られない場合は支援が困難」となる。

B-2: 文化庁で資料を保管。(資料の永続的な保管場所のみ確保)

- ・ **コンソーシアムを解散し**、他条件はB-1と同じ。保管候補は国立近現代建築資料館
- ・ 注意点:文化庁は、**著作権保護期間が切れているもの、著作権を譲渡したもののみ受領可能**とのこと。現在著作権保護期間を整理した上で交渉できないか、国土交通省と相談を進めている。可能なコンテンツ

【課題】

- ・ **A-1 の場合** コンソーシアム維持のための会員メリットの提供、国交省支援(国庫補助等)の永続性

- ・ **共通** 安定的な運営を目指した「母体」となる団体や機関の確保・著作権の整理とコンテンツの流通を促す活動を可能とする方法(資料の保全と有効活用・知財との協調→時間が必要)

5. 第14期後半(2019年4月から)での実施予定事項

- ① 竺現理事長から、仙田理事長への役員の引き継ぎ(総会承認事項)
- ② 総会の実施(5月以降)

その他添付資料

- ・ 会員推移
- ・ 補助金の状況
- ・ 運営基盤の安定化方策検討 報告書(2014 年)

以上

期		申込	利用写真		用途	詳細		枚数	単価	小計	期 合計点数・収入
第2期 (2007～2008)	2008年2月	バルスクリエイティブ	駒沢オリンピック競技場	芦原義信	1974 ムック掲載	昭文社(マップル等)	全国の建築紹介の雑誌	3	10,000	30,000	
			代々木体育館	丹下健三	1964 ムック掲載	昭文社(マップル等)	全国の建築紹介の雑誌				
			クウェート大使館	丹下健三	1976 ムック掲載	昭文社(マップル等)	全国の建築紹介の雑誌				
	2008年6月	松下電工労務ミュージアム	箱根樹木園休憩所	村野藤吾	1971 展示・図録掲載	村野藤吾 建築とインテリア展	松下電工美術館	2	10,000	20,000	
			宇都宮市役所	村野藤吾	1963 展示・図録掲載	村野藤吾 建築とインテリア展	松下電工美術館				
			トヨタ鞍ヶ池記念館	横文彦	1975 雑誌	ATES 掲載「トヨタの秘密「トヨタの傑作選」	雑誌特集号	1	10,000	10,000	6 60,000
第3期 (2008～2009)	2008年11月	オーストラリア大使館	在日オーストラリア大使館	横文彦	1976 論文集	日澳交流年2008記念論文集	論文	1	10,000	10,000	
			箱根樹木園休憩所	村野藤吾	1971 書籍	村野藤吾建築案内	書籍	13	10,000	130,000	
	2009年9月	TOTO出版	迎賓館	村野藤吾	1974 書籍	村野藤吾建築案内	書籍				
			迎賓館	村野藤吾	1974 書籍	村野藤吾建築案内	書籍				
			迎賓館	村野藤吾	1974 書籍	村野藤吾建築案内	書籍				
			迎賓館	村野藤吾	1974 書籍	村野藤吾建築案内	書籍				
			迎賓館	村野藤吾	1974 書籍	村野藤吾建築案内	書籍				
			迎賓館	村野藤吾	1974 書籍	村野藤吾建築案内	書籍				
			迎賓館	村野藤吾	1974 書籍	村野藤吾建築案内	書籍				
			常陸宮邸	村野藤吾	1977 書籍	村野藤吾建築案内	書籍				
			常陸宮邸	村野藤吾	1977 書籍	村野藤吾建築案内	書籍				
			常陸宮邸	村野藤吾	1977 書籍	村野藤吾建築案内	書籍				
			常陸宮邸	村野藤吾	1977 書籍	村野藤吾建築案内	書籍				
			常陸宮邸	村野藤吾	1977 書籍	村野藤吾建築案内	書籍				
			常陸宮邸	村野藤吾	1977 書籍	村野藤吾建築案内	書籍				
			常陸宮邸	村野藤吾	1977 書籍	村野藤吾建築案内	書籍				
			常陸宮邸	村野藤吾	1977 書籍	村野藤吾建築案内	書籍				
			常陸宮邸	村野藤吾	1977 書籍	村野藤吾建築案内	書籍				
			常陸宮邸	村野藤吾	1977 書籍	村野藤吾建築案内	書籍				
			常陸宮邸	村野藤吾	1977 書籍	村野藤吾建築案内	書籍				
			常陸宮邸	村野藤吾	1977 書籍	村野藤吾建築案内	書籍				
			常陸宮邸	村野藤吾	1977 書籍	村野藤吾建築案内	書籍				
第4期 (2009～2010)	2009年11月	鹿島出版会	EXPO'70 自動車館	前川國男建築設計事務所	1970 社内報	鹿島建設社内報「月報KAJIMA」連載記事	雑誌	1	10,000	10,000	
	2010年4月	慶應義塾大学	万国博覧会お祭り広場	丹下健三	1970 論文	情報処理学会 会誌	論文掲載	2	0	0	
	2010年7月	横文彦氏	千里中央地区センタービル	横文彦	1970 資料	プレゼンテーション資料として	プレゼンテーション資料と	1	0	0	4 10,000
第5期 (2010～2011)	2010年10月	森美術館	万国博覧会お祭り広場	丹下健三	1970 Web掲載等	展覧会プレスリリースWeb掲載	展覧会プレスリリース	1	10,000	10,000	
			帝国劇場	谷口吉郎	1966 展示	谷口吉郎・土川元夫顕彰室 での展示	展示料金適用	5	5,000	25,000	
			東京国立博物館東洋館	谷口吉郎	1968 展示	谷口吉郎・土川元夫顕彰室 での展示	展示料金適用				
	2010年11月 2011年3月	士会連合会 森美術館	東京会館	谷口吉郎	1972 展示	谷口吉郎・土川元夫顕彰室 での展示	展示料金適用				
			河文「水かがみの間」	谷口吉郎	1973 展示	谷口吉郎・土川元夫顕彰室 での展示	展示料金適用				
			迎賓館和風別館	谷口吉郎	1974 展示	谷口吉郎・土川元夫顕彰室 での展示	展示料金適用				
			広島基町長寿園高層アパート	大高正人・藤本昌也 他	1973 会誌	建築士 2011/1月号掲載 藤本昌也氏記事	会誌/DAAS会員料金適	1	5,000	5,000	
			万国博覧会お祭り広場	丹下健三	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて	2	10,000	20,000	
			東光園	菊竹清訓	1965 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて	42	10,000	420,000	
			日本万国博覧会 エクスボタワー	菊竹清訓	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて	5	10,000	50,000	
			日本万国博覧会 タカラビュ－ティリオン	黒川紀章	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			電通本社ビル	丹下健三	1968 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			山梨文化会館	丹下健三	1967 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			山梨文化会館	丹下健三	1967 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			京都信用金庫 城陽支店	菊竹清訓	1972 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			京都信用金庫西陣支店	菊竹清訓	1972 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			京都信用金庫 九条支店	菊竹清訓	1972 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			京都信用金庫門町支店	菊竹清訓	1972 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			出雲大社庁の舎	菊竹清訓	1963 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			東光園	菊竹清訓	1965 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			東光園	菊竹清訓	1965 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			東光園	菊竹清訓	1965 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			東光園	菊竹清訓	1965 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			東光園	菊竹清訓	1965 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			東光園	菊竹清訓	1965 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			福岡相互銀行本店(現 株式会社西日本シティ銀行)	磯崎新	1972 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			大分図書館	磯崎新	1966 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			大分図書館	磯崎新	1966 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			千葉県立中央図書館	大高正人	1968 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			東京都児童会館	大谷幸夫	1964 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			山形ハイドリームランド	黒川紀章	1967 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			山形ハイドリームランド	黒川紀章	1967 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			国立屋内総合競技場	丹下健三	1974 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			東京カテドラル聖マリア大聖堂	丹下健三	1965 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			こどもの国・児童館 屋根のある遊び場	大谷幸夫	1967 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			日本万国博覧会 航空写真	一	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			日本万国博覧会 お祭り広場	丹下健三	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			日本万国博覧会 シンボルゾーン	菊竹清訓	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			日本万国博覧会 シンボルゾーン	菊竹清訓	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			日本万国博覧会 シンボルゾーン	菊竹清訓	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			日本万国博覧会 シンボルゾーン	菊竹清訓	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			日本万国博覧会 テーマ館 塔内展示	黒川紀章	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			日本万国博覧会 テーマ館 塔内展示	黒川紀章	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			日本万国博覧会 大屋根	丹下健三	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			日本万国博覧会 お祭り広場	丹下健三	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			日本万国博覧会 エクスボタワー	菊竹清訓	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			日本万国博覧会 エクスボタワー	菊竹清訓	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			日本万国博覧会 東芝IH館	黒川紀章	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			日本万国博覧会 タカラビュ－ティリオン	黒川紀章	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			日本万国博覧会 タカラビュ－ティリオン	黒川紀章	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			日本万国博覧会 タカラビュ－ティリオン	黒川紀章	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			日本万国博覧会 住友重話館	大谷幸夫	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			日本万国博覧会 お祭り広場	丹下健三	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			沖縄国際海洋博覧会 アクアポリス	菊竹清訓	1975 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			沖縄国際海洋博覧会 アクアポリス	菊竹清訓	1975 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			沖縄国際海洋博覧会 アクアポリス	菊竹清訓	1975 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			沖縄国際海洋博覧会 アクアポリス	菊竹清訓	1975 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				

期		申込	利用写真		用途	詳細		枚数	単価	小計	期 合計 点数・収入
第6期 (2011～2012)	2011年8月	リクルート編集部(トランジット)	沖縄国際海洋博覧会 アクアポリス	菊竹清訓	1975 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	展示等一式にて				
			南台町の家 1957	吉村順三	1978 雑誌	都心に住む	雑誌掲載	2	10,000	20,000	
			南台町の家 1957	吉村順三	1978 雑誌	都心に住む					
	2011年8月	五藤光学研究所	沖縄国際海洋博覧会 航空写真	-	1975 展示	海洋博文化館プラネタリウムでの展示利用	展示利用料	3	5,000	15,000	
			沖縄国際海洋博覧会 海洋文化館	日建設計	1975 展示	海洋博文化館プラネタリウムでの展示利用	展示利用料				
			沖縄国際海洋博覧会 沖縄館	海洋博沖縄設計共同企業体	1975 展示	海洋博文化館プラネタリウムでの展示利用	展示利用料				61 565,000
	2011年10月	森美術館	東光園	菊竹清訓	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 ハガキ	展示等一式にて	1	10,000	10,000	
	2012年1月	Harvard Univ. Graduate School of Design	東光園	菊竹清訓	1965 雑誌掲載	Harvard Design Magazine Spring/Summer'12	雑誌掲載	1	10,000	10,000	
	2012年1月	乃村工藝社	日本万国博覧会 シンボルゾーン	-	新聞	日経新聞掲載 乃村工藝社 企業広告	新聞掲載	1	10,000	10,000	
	2012年2月	もりおか歴史文化館	出雲大社庁の舎	菊竹清訓	1963 企画展	企画展「建築家菊竹清訓の世界～か・かた・かたち～」展示パネル及びポスター利用	展示利用	6	5,000	30,000	
第7期 (2012～2013)	2012年12月	Department of Architecture University of	出雲大社庁の舎	菊竹清訓	1963 企画展	企画展「建築家菊竹清訓の世界～か・かた・かたち～」展示パネル及びポスター利用	ポスター利用	4	10,000	40,000	
			日本万国博覧会 エクスボタワー	菊竹清訓	1970 企画展	企画展「建築家菊竹清訓の世界～か・かた・かたち～」展示パネル及びポスター利用	展示利用				
			日本万国博覧会 エクスボタワー	菊竹清訓	1970 企画展	企画展「建築家菊竹清訓の世界～か・かた・かたち～」展示パネル及びポスター利用	展示利用				
	2012年3月	建築学会岡山	沖縄海洋博アクアポリス	菊竹清訓	1975 企画展	企画展「建築家菊竹清訓の世界～か・かた・かたち～」展示パネル及びポスター利用	展示利用				
			沖縄海洋博アクアポリス	菊竹清訓	1975 企画展	企画展「建築家菊竹清訓の世界～か・かた・かたち～」展示パネル及びポスター利用	展示利用				
			岩手県立図書館	菊竹清訓	1968 企画展	企画展「建築家菊竹清訓の世界～か・かた・かたち～」展示パネル及びポスター利用	展示利用				
	2012年5月	Kohn Pedersen Fox Associates PC	菊竹清訓氏DAAS event DVD	菊竹清訓	-	企画展「建築家菊竹清訓の世界～か・かた・かたち～」展示パネル及びポスター利用	展示利用				
			水無瀬の町屋	坂本一成	企画展	坂本一成 住宅 日常の詩学	ポスター・チケット	1	10,000	10,000	
			山梨文化会館	丹下健三	1967 書籍	KPF book published by Rizzoli in late 2012	書籍掲載	1	10,000	10,000	
	2012年6月	Harvard GSD	日本万国博覧会 エクスボタワー	菊竹清訓	1970 企画展	For display at the Kiyonori Kikutake Exhibition, Harvard GSD	展示利用	1	5,000	5,000	
	2012年6月	乃村工藝社	日本万国博覧会 お祭り広場	丹下健三	1970 プレスリリース		プレスリリース	1	10,000	10,000	17 135,000
	2012年12月	Department of Architecture University of	万国博覧会お祭り広場	丹下健三	1970 雑誌	JOURNAL OF THE SOCIETY OF ARCHITECTURAL HISTORIANS	建築史雑誌掲載	1	10,000	10,000	
	2015年1月	慶應義塾大学	万国博覧会お祭り広場	丹下健三	1970 論文	山中俊治・脇田玲・田中浩也編著『Xデザイン』(慶應義塾大学出版会、2013年3月刊行予定)	論文掲載	2	10,000	20,000	
			万国博覧会お祭り広場	丹下健三	1970 論文	山中俊治・脇田玲・田中浩也編著『Xデザイン』(慶應義塾大学出版会、2013年3月刊行予定)	論文掲載				
			水無瀬の町屋	坂本一成(設計)	1974 企画展	ハ王子私立夢美術館「坂本一成」展 広報・図録	広報・カタログ	1	10,000	10,000	
	2015年4月	フリックススタジオ	大分県立中央図書館(現アート・プラザ)	磯崎新	1966 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ	30	1,875	56,250	
	2015年5月	海外仕向送金台湾中山創意	坂出市人工土地	大高正人	1968 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
			国立京都国際会館	大谷幸夫	1966 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
			出雲大社庁の舎	菊竹清訓	1963 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
	2015年5月	株式会社山梨文化会館	日本万国博覧会 タカラビューティリオン	黒川紀章	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
			日本万国博覧会 タカラビューティリオン	黒川紀章	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
			山形ハイドリームランド	黒川紀章	1967 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
	2015年5月	株式会社山梨文化会館	東京カテドラル聖マリア大聖堂	丹下健三	1965 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
			東京カテドラル聖マリア大聖堂	丹下健三	1965 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
			日本万国博覧会 お祭り広場	丹下健三	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
	2015年5月	株式会社山梨文化会館	日本万国博覧会 航空写真	菊竹清訓	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
			日本万国博覧会 シンボルゾーン	菊竹清訓	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
			日本万国博覧会 シンボルゾーン	菊竹清訓	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
	2015年5月	株式会社山梨文化会館	日本万国博覧会 東芝HIIH	黒川紀章	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
			ホテル東光園本館	菊竹清訓	1965 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
			ホテル東光園本館	菊竹清訓	1965 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
	2015年5月	株式会社山梨文化会館	日本万国博覧会 住友児童館	大谷幸夫	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
			日本万国博覧会 エクスボタワー	菊竹清訓	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
			日本万国博覧会 エクスボタワー	菊竹清訓	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
	2015年5月	株式会社山梨文化会館	日本万国博覧会 タカラビューティリオン	黒川紀章	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
			沖縄国際海洋博覧会 アクアポリス	菊竹清訓	1975 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
			日本万国博覧会 シンボルゾーン	菊竹清訓	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
	2015年5月	株式会社山梨文化会館	日本万国博覧会 シンボルゾーン	菊竹清訓	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
			沖縄国際海洋博覧会 アクアポリス	菊竹清訓	1975 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
			日本万国博覧会 シンボルゾーン	菊竹清訓	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
	2015年5月	株式会社山梨文化会館	日本万国博覧会 タカラビューティリオン	黒川紀章	1970 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
			ホテル東光園本館	菊竹清訓	1965 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
			山形ハイドリームランド	黒川紀章	1967 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
	2015年5月	株式会社山梨文化会館	国立屋内総合競技場	丹下健三	1974 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
			郡城市民会館	菊竹清訓	1966 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
			電通本社ビル	丹下健三	1968 企画展	メタボリズムの未来都市展 展示・カタログ・PR	広報・カタログ				
	2015年5月	株式会社山梨文化会館	山梨文化会館	丹下健三	1967 社内向け冊子	RE DISCOVER PROJECT 140年記念冊子	社内誌	2	3,150	6,300	
			山梨文化会館	丹下健三	1967 社内向け冊子	RE DISCOVER PROJECT 140年記念冊子	社内誌	1	10,000	10,000	
			山梨文化会館	丹下健三	1965 企画展	丹下健三 伝統と創造 瀬戸内から世界へ	パネル・図録	1	10,000	10,000	
	2015年5月	株式会社山梨文化会館	代官山ヒルサイドテラス	柳文彦	1978 書籍	China Architecture & Building Press	雑誌掲載	1	10,000	10,000	39 132,500
			財団法人ギャラリーエークウッド	浜田山の家	1966 企画展	三里塚教会物語と吉村順三展	展示・カタログ	1	10,000	10,000	
			香川県 丹下健三生誕100周年記念実行委員会	坂出人工土地	1966 企画展	丹下健三 伝統と創造 瀬戸内から世界へ	パネル・図録	2	10,000	20,000	
第8期 (2013～2014)	2013年12月	株式会社ADAC	香川県 丹下健三生誕100周年記念実行委員会	浅田孝・環境開発センター	1965 企画展	丹下健三 伝統と創造 瀬戸内から世界へ	パネル・図録				
			出雲大社庁の舎	菊竹清訓	1963 会誌	てんとう虫 / express(カード会社会誌)	掲載	1	10,000	10,000	
			続 私の家	清家清	1971 雑誌	雑誌 デティール 掲載	雑誌	1	10,000	10,000	
	2014年1月	株式会社山梨文化会館	中野サンプラザ 全国勤労青少年会館	日建設計	1973 社史掲載	日建設計社史(会員割引適用)	HPおよび冊子掲載	1	5,000	5,000	
			中野サンプラザ 全国勤労青少年会館	日建設計	1973 社史掲載	日建設計社史(会員割引適用モノクロ)	HPおよび冊子掲載	1	2,500	2,500	7 57,500
			山梨文化会館	丹下健三	1967 企画展	山梨文化会館と丹下健三展	パネル	2	10,000	20,000	
	2014年1月	株式会社山梨文化会館	山梨文化会館	丹下健三	1967 企画展	山梨文化会館と丹下健三展	パネル	1	5,000	5,000	
			山梨文化会館	丹下健三	1970 企画展	山梨文化会館と丹下健三展	制作済み再展示				
			山梨文化会館	丹下健三	1974 情報誌	美術準備室6号(美術教師向け図書)	図版 展示	1	7,500	7,500	
	2014年1月	株式会社山梨文化会館	山梨文化会館	丹下健三	1967 企画展	山梨文化会館と丹下健三展	パネル	2	10,000	20,000	
			山梨文化会館	丹下健三	1967 企画展	山梨文化会館と丹下健三展	パネル	1	5,000	5,000	
			山梨文化会館	丹下健三	1970 企画展	山梨文化会館と丹下健三展	制作済み再展示				
第9期 (2014～2015)	2014年1月	株式会社山梨文化会館	山梨文化会館	丹下健三	1967 企画展	山梨文化会館と丹下健三展	パネル	2	10,000	20,000	
			山梨文化会館	丹下健三	1967 企画展	山梨文化会館と丹下健三展	パネル	1	5,000	5,000	
			山梨文化会館	丹下健三	1970 企画展	山梨文化会館と丹下健三展	制作済み再展示				
	2014年1月	株式会社山梨文化会館	山梨文化会館	丹下健三	1967 企画展	山梨文化会館と丹下健三展	パネル	2	10,000	20,000	
			山梨文化会館	丹下健三	1967 企画展	山梨文化会館と丹下健三展	パネル	1	5,000	5,000	
			山梨文化会館	丹下健三	1970 企画展	山梨文化会館と丹下健三展	制作済み再展示				
	2014年1月	株式会社山梨文化会館	山梨文化会館	丹下健三	1967 企画展	山梨文化会館と丹下健三展	パネル	2	10,000	20,000	
			山梨文化会館	丹下健三	1967 企画展	山梨文化会館と丹下健三展	パネル	1	5,000	5,000	
			山梨文化会館	丹下健三	1970 企画展	山梨文化会館と丹下健三展	制作済み再展示				
	2014年1月	株式会社山梨文化会館	山梨文化会館	丹下健三	1967 企画展	山梨文化会館と丹下健三展	パネル	2	10,000	20,000	
			山梨文化会館	丹下健三	1967 企画展	山梨文化会館と丹下健三展	パネル	1	5,000	5,000	
			山梨文化会館	丹下健三	1970 企画展	山梨文化会館と丹下健三展	制作済み再展示				

期	申込	利用写真	用途	詳細	枚数	単価	小計	期 合計点数・収入
	谷口建築設計事務所 マガジンハウス 株式会社エヌワイアソシエイツ オームソーラ 小学館 増田友也生誕100周年記念事業会 Quart verlag gmbh(switzerland) 建築画報社	住吉の長屋	1977 企画展	埼玉県立美術館 戦後日本住宅伝説 展示・カタログ・広報使用				
		幻庵	1975 企画展	埼玉県立美術館 戦後日本住宅伝説 展示・カタログ・広報使用				
		日本学士院会館	1974 企画展	金沢市主催 谷口建築展 パネル展示	パネル	2	10,000	20,000
		東京国立近代美術館	1969 企画展	金沢市主催 谷口建築展 パネル展示	パネル			
		水無瀬の町屋	坂本一成	雑誌掲載	CASA BRUTUS 掲載	1	10,000	26,250
		水無瀬の町屋	坂本一成	雑誌掲載	CASA BRUTUS 掲載	1	5,000	
		水無瀬の町屋	坂本一成	雑誌掲載	CASA BRUTUS 掲載	1	7,500	
		水無瀬の町屋	坂本一成	雑誌掲載	CASA BRUTUS 掲載	1	3,750	
		南台野の家	吉村順三	雑誌掲載	建築資料研究者 季刊「庭」218号	1	7,500	7,500
		株式会社エヌワイアソシエイツ	中野サンプラザ 全国勤労青少年会館	日建設計	1973 広告	1	10,000	10,000
		オームソーラ	代官山集合住居計画第1期工事	模文彦	1969 広報誌	1	10,000	10,000
		小学館	東光園	菊竹清訓	書籍	1	10,000	10,000
		増田友也生誕100周年記念事業会	京都市東山会館	増田友也	1964 企画展	1	4,000	4,000
		Quart verlag gmbh(switzerland)	水無瀬の町屋	坂本一成	1971 書籍	1	10,000	10,000
			水無瀬の町屋	坂本一成	1971 書籍	3	6,000	18,000
			運野流山の家	坂本一成	1971 書籍			
			運野流山の家	坂本一成	1971 書籍			
		建築画報社	日本万国博覧会電力館	1970 書籍	坂田誠造氏単行本	2	10,000	20,000
			小田急百貨店本店	1968 書籍	坂田誠造氏単行本			28 248,500
第10期 (2015～2016)	Harvard University Herbert F. Johnson Museum of Art, Cornell University カーテンウォール Harvard University (前年度以前からの保留分預り金)	アクアボリス	菊竹清訓	1975 書籍	Land and Sea by Ken Tadashi Oshima,	1	9,000	9,000
		アクアボリス	菊竹清訓	1975 書籍	Land and Sea by Ken Tadashi Oshima,			
		モントリオール万国博覧会 日本館	戸原義信	1967 書籍	JapanAmerica	3	10,000	30,000
		モントリオール万国博覧会 日本館	戸原義信	1967 書籍	JapanAmerica			
		モントリオール万国博覧会 日本館	戸原義信	1967 書籍	JapanAmerica			
						1	9,000	
第11期 (2016～2017)	アルキテクトン関西 一般財団法人臨田美術館 DEUTSCHES ARCHITEKTURMUSEUM(ドイツ建築博物館) マガジンハウス	宝塚カトリック教会	村野藤吾	雑誌掲載	アルキテクトン関西掲載	1	10,000	10,000
		経井沢の家	吉村順三	1967 映像	映像アーカイブ作成	4	5,000	20,000
		経井沢の家	吉村順三	1967 映像	映像アーカイブ作成			
		経井沢の家	吉村順三	1967 映像	映像アーカイブ作成			
		経井沢の家	吉村順三	1967 映像	映像アーカイブ作成			
		大分図書館	磯崎新	1966 書籍	ブルータリズム展	3	10,000	30,000
		山梨文化会館	山梨文化会館	1967 書籍	ブルータリズム展			
		山梨文化会館	山梨文化会館	1967 書籍	ブルータリズム展			
		旧 小菅刑務所		雑誌掲載	CASA BRUTUS 日本建築特殊	1	7,500	67,500
		東京カテドラル聖マリア聖堂	丹下健三	雑誌掲載	CASA BRUTUS 建築の教科書	9	7,500	
		東京カテドラル聖マリア聖堂	丹下健三	雑誌掲載	CASA BRUTUS 建築の教科書			
		代々木体育館	丹下健三	雑誌掲載	CASA BRUTUS 建築の教科書			
		代々木体育館	丹下健三	雑誌掲載	CASA BRUTUS 建築の教科書			
		東京国立博物館東洋館		雑誌掲載	CASA BRUTUS 建築の教科書			
		帝國ホテル	フランクロイドライト	雑誌掲載	CASA BRUTUS 建築の教科書			
		帝國ホテル	フランクロイドライト	雑誌掲載	CASA BRUTUS 建築の教科書			
		帝國ホテル	フランクロイドライト	雑誌掲載	CASA BRUTUS 建築の教科書			
		香川県庁舎	丹下健三	雑誌掲載	CASA BRUTUS 建築の教科書			18 127,500
第12期 (2017～2018)	国際文化会館 森ビル株式会社 サクシード Department of Modern Languages and Literature 日本建築センター	ポカンティコヒルの家	吉村順三	1976 広報誌掲載	I-HOUSE QUARTERLY 国際文化会館発行	1	5,000	5,000
		東光園	菊竹清訓	企画展	建築の日本展 展示・図録	4	10,000	40,000
		東光園	菊竹清訓					
		日本万国博覧会 東芝IH館		企画展	建築の日本展 展示・図録			
		ポカンティコヒルの家	吉村順三	企画展	建築の日本展 展示・図録			
		桜台コートビレッジ		1970 展示	長谷エミュージウムでの展示	1	5,000	5,000
		日本万国博覧会 タカラビューティオリオン	黒川紀章	1970 書籍	Metabolism of the Imagination ミネソタ大学press発行	3	10,000	30,000
		日本万国博覧会 お祭り広場	丹下健三	1970 書籍	Metabolism of the Imagination ミネソタ大学press発行			
		日本万国博覧会 シンボルゾーン		1970 書籍	Metabolism of the Imagination ミネソタ大学press発行			
		霞が関ビル	日本設計	1968	ポスター		0	0 9 79,880

期(年度)	点数	合計
第2期 (2007～2008)	6	60,000
第3期 (2008～2009)	14	140,000
第4期 (2009～2010)	4	10,000
第5期 (2010～2011)	61	565,000
第6期 (2011～2012)	17	135,000
第7期 (2012～2013)	39	132,500
第8期 (2013～2014)	7	57,500
第9期 (2014～2015)	28	248,500
第10期 (2015～2016)	6	54,000
第11期 (2016～2017)	18	127,500
第12期 (2017～2018)	9	79,880
総合計	209	1,609,880

参考 平均(期ごと)	19	146,353
------------	----	---------

1. 事務局担当者の具体的な業務内容(詳細は添付エクセルファイル参照)

- ① 会員対応
 - ② 会議・委員会・総会対応
 - ③ 経理・庶務・総務業務
 - ④ 外部委託・契約等の締結・更新業務
 - ===
 - ⑤ コンテンツ企画
 - ⑥ コンテンツ制作※撮影・編集含(近年は補助金事業)
 - VR/資料デジタル化/映像制作/それにかかる Web サイト更新
 - ⑦ Web データベース更新
 - ⑧ コンテンツ有償利用
- ①～④で全体の 50% ⑤～⑧で 50%程度

※ 参考:事務局業務を外部委託した場合の見積もりを 2014-2015 年に依頼

- 業務代行部分①～④の内容
- 学会等事務代行業務を行う会社複数に依頼。
- 見積額約 200 万→添付に示した現状の人件費 400 万の 50%相当の業務。添付の計算として概ね相当額

2. 事務局機能なしでもかかる 100 万円の内訳(添付エクセル D パターン参照)

DAAS 活動の最小限の継続を目的として Web サイトの継続・更新のみ行う前提

(1)- a) -1	“現状の Web 制作会社での”保守費(月額)	50,000 * 12=600,000 円/年
(1)- a) -2	高精細画像遠隔地保管(ロッカー2個)	10,000 * 12=120,000 円/年
(1)- b) -	※予備 HDD 書換+入替にかかる費用	30,000 円/回
(1)- d)	SSL 認証(GMO グローバルサイン)	35,000 円/年
(1)- e)	レンタルサーバー利用料(お名前.com 9 月更新)	約 14,000 円/年
(1)- f)	電子透かし Digimarc(USD499.00 120 円計算)C 払	約 62,000 円 /年
(5)	Web の新規アップロードを前提とした人件費	22,000 円/年
		約 883,000 円/年

＋税 8%の場合 =約 955,000 円/年

＋税 10%の場合 =約 975,000 円/年

※ ただし①については Web サイト更新を年数回行うことを前提とした保守費であるため、保守費としては破格の金額で提示して頂いている。他社で保守を行った場合、又は、条件が変わる場合はあらためて見積りの必要がある。

3. ユーザの個人情報の取扱

① DAAS のプライバシーポリシー

https://www.daas.jp/site-about/plcy_privacy.html

DAAS では、利用者の皆様が安心して御利用いただけるように、セキュリティについて留意し運用を行っています。当サイトでは、個人情報の登録や送信、ログイン後の利用について、Web サーバとブラウザ間の通信は SSL(Secure Sockets Layer) による暗号化を行っています。SSL 暗号化に際しては、128bitSSL 証明書を利用し、暗号化を行っています。SSL の利用により、情報が傍受/妨害される事を防いでいます。これにより、サイト上の個人情報の登録・更新などがより安全に行われるようになります。

② Web サイトの資料閲覧用のメンバー登録

写真提供者のセキュリティの為閲覧に際し以下 3 点を登録した場合のみ

QVGA(320x240pixel)サイズの写真を閲覧可能。尚写真については無断使用を避けるため、Digiimarc 社の電子透かしをいれ Web パトロールを随時行うサービスに加入。

(ア) メールアドレス、

(イ) 名前(偽名の可能性有)

(ウ) 任意の ID

③ Web サーバでの個人情報の管理

(ア) リモートで入れる IP アドレスを制限

(イ) 不必要なサービス(ポート)制限

(ウ) パスワードを暗号化→現在検討中

④ サイト規約 ※添付 word 資料参照

4. Web システムの仕様について

他社へ DAAS-Web を移行する際に必要な情報の確認としてどういう作業が発生するか、運用(作業内容)、システム側(スキル)、までの書き出しが出来ないため、おおまかな必項のみ。

- (ア) 環境は ApacheとWordpressとPostgres 特殊なものは使用していない。→HTML、Javascript、jQuery、PHP が分かれば対応可能。
- (イ) DB(Postgres)にアクセスするための SQL は、基本的な知識(select や insert など)が必要
- (ウ) 移行先のサーバの事前準備
- (エ) 最低限必要となるもの:サーバ、開発者、資料の運用者(更新)※Web 各知識がある方が必要
- (オ) 移行方法(案)、

現状のシステムのまま 移行先に渡す場合

案1)現状の Web 制作会社で移設作業+システムの説明を移行先担当者に行う。

案2)現状の Web 制作会社から説明+移行先担当者が移設作業

※ 案1)及び2)の Web 制作会社でかかる費用については、作業が事前に確定できないため、先にソースを渡し、どの程度の説明が必要か移行先との交渉により見積もるとのこと

※ 他社に移行後、現状と同じ Web 制作会社で継続して保守やメンテナンスを行う場合も、データの管理修正等を含めた保守の場合は別途費用がかかる。また修正するデータ量により金額の調整も必要となるため、**前項2)**で示した**保守費内での作業とはならない。**

移行に際し Web サイトの総改修をする場合

案3)管理がしやすい WordPress などの ブログツール にすべて 置き換える

【総改修費：概算見積：350 万から 400 万 程度】

あわせて、現在の制作会社より 引渡しに関しての口頭説明が必要

【口頭説明費用概算 :1 回 5 万円 * 数回(資料作成費別途必要) 】

【その後もサポート が必要な場合の 概算費用：20 から 30 万 / 月 * 数ヶ月】

添付資料

1. 関連 DAAS 事務局業務 AB 区分入り 20190516
2. 関連 DAAS 収支シミュレーション 20190523.xlsx
3. 関連 サイト規約改正審議資料 070921.pdf

以上

項目		期間	事務局業務 内容(現在常駐職員1名にて対応)	期間・頻度	人行計算 日数(7.5時間/日 計算)	率/(年265日計算)	A:事務局員が 対応すべき業務 (創意工夫と責任をもって対応 が必要な業務)	B:臨時雇用/外部 委託としても 良いと考えられる 業務
事務局運営	会員対応	随時	会員登録内容の 変更、更新確認 窓口対応	通年/随時	9日	3%		●
			窓口担当者、委員、指定代表者の確認(email+リスト表管理)	通年/随時				●
			名簿作成と管理	通年/随時				●
			理事・監事対応(総会日程調整や理事依頼等)	1回/1年(準備2ヶ月)				●
	事務局内管理		事務書式作成・更新	通年/随時	5日	2%	○	●
			タスクリスト管理	通年/随時			○	●
			規約、内規の管理、検討と作成(必要があれば行政書士に依頼)	年度/1年			○	●
								●
	事務局会議	事前準備	日程調整	1回/1ヶ月	3日/月*4回=12日	5%		●
			会議室調整	1回/1ヶ月				●
			議案作成	1回/1ヶ月				●
			資料作成	1回/1ヶ月				●
		当日	書記	1回/1ヶ月				●
		後日	議事録作成及び参加者への確認	1回/1ヶ月				●
			事後整理	1回/1ヶ月				●
								●
	運営委員会	事前準備	日程調整	1回/3ヶ月	4日*4回=16日	6%		●
			会議室予約	1回/3ヶ月				●
			委員への告知	1回/3ヶ月				●
			出欠確認	1回/3ヶ月				●
			議案作成	1回/3ヶ月				●
			議案事前送付	1回/3ヶ月				●
			資料作成	1回/3ヶ月				●
			当日用備品用意	1回/3ヶ月				●
			会場案内作成	1回/3ヶ月				●
			出席名簿作成	1回/3ヶ月				●
			交通費・旅費清算用書類作成	1回/3ヶ月				●
		当日	会場準備	1回/3ヶ月				●
		後日	議事録作成	1回/3ヶ月				●
			交通費・旅費旅費精算	1回/3ヶ月				●
								●
								●
	総会	事前準備	日程調整(理事長、理事との日程調整)	1回/1年(準備3ヶ月)	15日	6%		●
			会議場の確保と下見	1回/1年(準備3ヶ月)				●
			会場内の備品手配、打合せなど	1回/1年(準備3ヶ月)				●
			指定代表者への告知	1回/1年(準備3ヶ月)				●
			出欠確認	1回/1年(準備3ヶ月)				●
			議案作成	1回/1年(準備3ヶ月)				●
			議案事前送付	1回/1年(準備3ヶ月)				●
			資料作成	1回/1年(準備3ヶ月)				●
			会計監査書類作成(会計事務所への依頼含む)	1回/1年(準備3ヶ月)				●
			会計監査確認印の受領(幹事訪問)	1回/1年(準備3ヶ月)				●
			進行シナリオ作成	1回/1年(準備3ヶ月)				●
			席次表作成	1回/1年(準備3ヶ月)				●
			理事長への挨拶	1回/1年(準備3ヶ月)				●
			当日用備品用意	1回/1年(準備3ヶ月)				●
			会場案内作成	1回/1年(準備3ヶ月)				●
			出席名簿作成	1回/1年(準備3ヶ月)				●
		当日	会場準備	1回/1年(準備3ヶ月)	10日	4%		●
			会議場との連絡、調整	1回/1年(準備3ヶ月)				●
			受付	1回/1年(準備3ヶ月)				●
			議事録作成	1回/1年(準備3ヶ月)				●
		後日	経費精算	1回/1年(準備3ヶ月)				●
			議事要旨案作成と確認	1回/1年(準備3ヶ月)				●
			議事要旨送付	1回/1年(準備3ヶ月)				●
			欠席委員への資料送付	1回/1年(準備3ヶ月)				●
	経理	随時	会計書類作成	通年/随時	20日	8%		●
			会計事務所との連絡・相談	通年/随時				●
			データ入力/管理	通年/随時				●
			現金・預金管理、振込手続き等	通年/随時				●
		新年度	予算執行額確認と執行案作成(委員会での報告書類など)	数回/年	2日	1%	○	●
			会費請求書作成と資料送付作業	1回/1年				●
			会費入金管理	通年/随時				●
			予算案の素案作成	1回/1年(準備3ヶ月)				●
	庶務・総務	随時	監査報告書用書類作成	1回/1年(準備3ヶ月)	10日	4%		●
			備品購入と管理(文房具・名刺・その他)	通年/随時				●
			電話応対	通年/随時				●
			書類等送付手続き	通年/随時				●
			ファイリング	通年/随時				●
	外注・委託業務契約 (Web、事務委託、ビデオ制作会社、サーバー管理、遠隔地保管、画像セキュリティサービス、クラウドサービス、アプリケーション利用料等)	随時	会議書類、書式などのデータ管理・ファイル管理	通年/随時	10日	4%		●
			契約書式の確認と契約書の締結	年度/1年				●
			費用検討	通年/随時				●
			委託費の支払い(月ごと、年ごと、その他)	通年/随時				●
			進行チェック	通年/随時				●
			打合せ	通年/随時				●
			修正事項等チェック	通年/随時				●
			契約更新	年度/1年				●

項目	期間	事務局業務 内容(現在常駐職員1名にて対応)	期間・頻度	人行計算 日数(7.5時間/日 計算)	率/(年265日計算)	A:事務局員が 対応すべき業務 (創意工夫と責任をもって対応 が必要な業務)	B:臨時雇用/外部 委託としても 良いと考えられる 業務
企画・コンテンツ (補助金事業)	コンテンツ制作 (VR/デジタル資料作成 等)	VR/デジタル	進行調整	随時/年	40日	15%	●
			関係者対応(連絡・調整など)	随時/年			○
			委託先選定	数回/年			○
			契約	数回/年			○
			日程調整・進捗管理	随時/年			○
			当日対応	随時/年			
			関係者対応(連絡・調整など)	随時/年			
			経費精算	随時/年			
			報告書類作成	随時/年			
			委員会・会議等での報告	数回/年			
			最終報告資料作成	数回/年			
		ビデオ制作	建築家への連絡	1回/1年(準備含め半年)	70日	26%	○
			企画立案(運営委員会で決定しても可)	1回/1年(準備含め半年)			○
			打合せ調整(建築家・インタビュー・制作会社との日程調整)	1回/1年(準備含め半年)			○
			撮影時期や内容の調整	1回/1年(準備含め半年)			○
			シナリオ作成	1回/1年(準備含め半年)			○
			事前資料作成	1回/1年(準備含め半年)			○
			(インタビュー内容の確認)	1回/1年(準備含め半年)			○
			当日の進行確認・撮影立会	1回/1年(準備含め半年)			○
			経費精算	1回/1年(準備含め半年)			○
			撮影現場との調整	1回/1年(準備含め半年)			○
			図面などの借り出し・返却	1回/1年(準備含め半年)			○
			撮影立会	1回/1年(準備含め半年)			○
			編集・納期スケジュール管理	1回/1年(準備含め半年)			○
			文字起こし+仮編集	1回/1年(準備含め半年)			○
			編集チェック	1回/1年(準備含め半年)			○
			デザイン制作(キャプション、DVDカバー、等)	1回/1年(準備含め半年)			○
			必要資料等借り出し	1回/1年(準備含め半年)			○
			作品受取	1回/1年(準備含め半年)			○
			撮影後挨拶	1回/1年(準備含め半年)			○
			DVD発注	1回/1年(準備含め半年)			○
			Webサイトへのデータアップロード	1回/1年(準備含め半年)			○
			報告書類作成	1回/1年(準備含め半年)			○
Webデータベース		随時	メタデータ訂正作業	通年/随時	20日	8%	○
			許諾確認・データ修正	通年/随時			○
			HPの不具合の報告	通年/随時			○
			Web管理会社への指示	通年/随時			○
			Web管理画面での訂正	通年/随時			
			更新作業	通年/随時			
コンテンツ有償利用		随時	書式作成	通年/随時	10日	4%	
			申込者受付と手続き説明(顧客対応)	通年/随時			
			データ送付手続き(セキュリティ処理と必要データの確認)	通年/随時			
			新建築社(権利者)への連絡と調整	通年/随時			
			写真閲覧受付	通年/随時			
			入金確認	通年/随時			

DAAS収支シミュレーション(理事会員減額の場合)

目標成果: 支出パターンを組み立て、それに必要な会費収入を弾き出す素材となること(年間経費で試算)

別紙1
2018.10.04修正

説明: 青字セルは自動計算、数値増減検証する部分は「黄色セル」

■支出の部 ※消費税変動の可能性があるので税抜きの表示とし、総合計欄に消費税を別途明記する

(1) DAAS-WEBサイト維持・公開必要経費(必須経費)

費目	金額	A	B	C	D	Aの小計	Bの小計	Cの小計	Dの小計	内訳等	支出先
a)サーバ管理委託費	¥720,000	1	1	1	1	¥720,000	¥720,000	¥720,000	¥720,000	サーバ維持・管理(OSセキュリティ対策、トラブル対応、簡易な更新作業)高精細画像の遠隔地保管(a)-1:50,000+a)-2 10,000)*12ヶ月	ブロードワークス(Web管理)ワンピン(遠隔保管)
b)サーバ管理委託費の予備(回)	¥30,000				1				¥30,000	a)-2のHDD書換+入替にかかる費用 1回ごと	ワンピン(遠隔保管)
c)サーバ保守費支出	¥0	1	1	1	1	¥0	¥0	¥0	¥0	第5期以降レンタルサーバへ移行としサーバ保守費は不要	現状積立預金として180万残額
d)SSL認証経費	¥35,000	1	1	1	1	¥35,000	¥35,000	¥35,000	¥35,000	個人情報入力等に使用するSSL認証証明書維持経費	GMOグローバルサイン(株)
e)レンタルサーバー	¥14,000	1	1	1	1	¥14,000	¥14,000	¥14,000	¥14,000	daas.jpのドメイン使用権利/現在6ヶ月更新にて	お名前.com
f) デジマーク使用料(USD499)	¥62,000	1	1	1	1	¥62,000	¥62,000	¥62,000	¥62,000	電子透かし技術の使用権利。写真提供者者への配慮の為必須 US499.00/枚数制限有(125円/USD)	Digimarc.com
小計(1)	¥861,000					¥831,000	¥831,000	¥831,000	¥861,000		

(2) 事務局経費(必須経費)

費目	金額	A	B	C	D	Aの小計	Bの小計	Cの小計	Dの小計	内訳等	支出先
事務局経費a)現状事務局経費支払いなし	¥0					¥0	¥0	¥0	¥0	ちよだプラットフォームスクエア 契約料(2014年4月より)光熱費含め約20,000円/月	ちよだプラットフォームスクエア
b)通信運搬費支出1(第10期予算参考)	¥270,000	1	1			¥270,000	¥270,000	¥0	¥0	050ダイヤル、固定電話、インターネット料金、e-mobile、携帯電話代(DAASのものが無いため発生時に清算)	NTT.e-mobile ※普及センタと別会計
c)通信運搬費支出2(第9期参考)	¥30,000	1	1			¥30,000	¥30,000	¥0	¥0	郵便料金(総会時等配布物)	日本郵政
d)旅費交通費1(第9期参考)	¥30,000	1	1			¥30,000	¥30,000	¥0	¥0	事務局内交通費	
e)会計士外部委託費1(第10期予算参考)	¥173,000	1	1	1		¥173,000	¥173,000	¥173,000	¥0	DAAS会計を別処理とする以上必要経費 年度末会計書類作成費用(消費税込+源泉込み)	浅井会計事務所
f)会計士外部委託費2(第9期参考)	¥140,000	1	1			¥140,000	¥0	¥140,000	¥0	DAAS会計を別処理とする以上必要経費 月額顧問(消費税込+源泉込み)	浅井会計事務所
g)専任事務局人件費(第10期予算参考)	¥4,080,000	1	1			¥4,080,000	¥4,080,000	¥0	¥0	直接人件費。法定福利費(雇用保険、健康保険、労災保険、厚生年金 等) 第8期想定金額	
h)法定福利費(第10期予算参考)	¥700,000	1	1			¥700,000	¥700,000	¥0	¥0		
i)事務局通勤交通費(第10期予算参考)	¥200,000	1	1			¥200,000	¥200,000	¥0	¥0		
						¥0	¥0	¥0	¥0		
小計(2)	¥5,623,000					¥5,623,000	¥5,483,000	¥313,000	¥0		

(3) 総会経費(必須経費)

費目	金額	A	B	C	D	Aの小計	Bの小計	Cの小計	Dの小計	内訳等	支出先
a)会場借上げ費	¥100,000	1	1	1		¥100,000	¥100,000	¥100,000	¥0	会場費60000.20000.飲み物10000(マイク等含)※コーヒ―等会場費に含めて計算	都道府県会館
b)その他備品	¥15,000	1	1	1		¥15,000	¥15,000	¥15,000	¥0	レンタル機器	
c)文房具等費用	¥10,000	1	1	1		¥10,000	¥10,000	¥10,000	¥0		
d)印刷代	¥5,000	1	1	1		¥5,000	¥5,000	¥5,000	¥0	外部での印刷の場合	
e)受付人件費	¥10,000	1	1	1		¥10,000	¥10,000	¥10,000	¥0	外部依頼する場合(半日拘束 * 1名)	
小計(3)	¥130,000					¥130,000	¥130,000	¥130,000	¥0		

(4) 運営委員会経費(必須経費)

費目	金額	A	B	C	D	Aの小計	Bの小計	Cの小計	Dの小計	内訳等	支出先
a)会場借上げ費	¥65,000	1	1	1		¥65,000	¥0	¥0	¥0	6,000*10回(委員会4回.WG等開催6回想定)	
b)会議用飲み物代	¥22,500	1	1	1		¥22,500	¥22,500	¥22,500	¥0	ペットボトル水×15本*10	
c)文房具等費用	¥10,000	1	1	1		¥10,000	¥10,000	¥10,000	¥0		
d)印刷代	¥50,000	1	1	1		¥50,000	¥0	¥50,000	¥0	外部での印刷の場合	
e)旅費交通費2	¥300,000	1	1	1		¥300,000	¥300,000	¥300,000	¥0	運営委員会年4回開催×2名(委員会のみ開催)	
小計(4)	¥447,500					¥447,500	¥332,500	¥382,500	¥0		

(5) 各団体受賞作品収蔵・公開経費(選択経費)

費目	金額	A	B	C	D	Aの小計	Bの小計	Cの小計	Dの小計	内訳等	支出先
a)日本建築学会賞	¥4,000			1	1	¥0	¥0	¥4,000	¥4,000	1回当収蔵作業基準経費(2時間/人/上限50点)+α	派遣先
b)日事連建築賞	¥4,000			1	1	¥0	¥0	¥4,000	¥4,000	1回当収蔵作業基準経費(2時間/人/上限50点)+α	
c)JIA各賞(毎年130点で計算)	¥7,000			1	1	¥0	¥0	¥7,000	¥7,000	1回当収蔵作業基準経費(2時間/人/上限50点)+α	
d)日本建築士会連合会賞	¥3,000			1	1	¥0	¥0	¥3,000	¥3,000	1回当収蔵作業基準経費(2時間/人/上限50点)+α	
e)BCS賞	¥4,000			1	1	¥0	¥0	¥4,000	¥4,000	1回当収蔵作業基準経費(2時間/人/上限50点)+α	
f)DAAS卒業設計大賞	¥90,000	1				¥90,000	¥0	¥0	¥0	出場者3名+事務局交通費	
g)卒業設計大賞備品	¥10,000	1				¥10,000	¥0	¥0	¥0	出場者3名表彰備品等	
小計(5)	¥122,000					¥100,000	¥0	¥22,000	¥22,000		

ABCD各パターン支出計

A	B	C	D
¥7,131,500	¥6,776,500	¥1,678,500	¥883,000
			¥971,300
			¥953,640

消費税10%加算

消費税8%加算

■必要収入検討の部(会費設定シミュレート)

※2016.5.12現在、日建、日本設計 理事退任を希望。

(1) 現行会費単価、会員数から計算される会費収入(現状把握)

会員種別	現行単価	数							小計	
企業 51人以上	¥320,000	14	→						¥4,480,000	日本設計/日建設計/大和ハウス理事会員をやめ一口にを廃止
企業 11~50人	¥110,000	1	→						¥110,000	日建学院
企業 10人以下	¥60,000		→						¥0	
企業理事 51人以上(2018二口廃止)	¥320,000	0	→						¥0	(日本設計は未納、日建設計は減口希望あり)
企業理事 11~50人	¥110,000	0	→						¥0	新建築が未納
企業理事 10人以下	¥60,000		→						¥0	
団体	¥200,000	10	→						¥2,000,000	
学術・教育	¥30,000	1	→						¥30,000	建築学会
個人	¥20,000	0	→						¥0	
SUM									¥6,620,000	(第10期予算より640000円減で検討)

(2) 会費単価を変数とした会費収入シミュレート(赤字セルは自動計算)

会員種別	単価	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	Iの小計	IIの小計	IIIの小計	IVの小計	Vの小計	VIの小計	VIIの小計	VIIIの小計	考え方
企業 51人以上	¥320,000	12								¥3,840,000								廃止: 月単価3万円
理事2口の制度は廃止	¥300,000	12								¥3,600,000								現行: 月単価2.66万円
	¥240,000		12								¥2,880,000							減額: 月単価2万円
	¥200,000			12								¥2,400,000						減額: 月単価1.67万円
	¥180,000				12								¥2,160,000					減額: 月単価1.5万円
	¥150,000					12								¥1,800,000				減額: 月単価1.25万円
	¥100,000						12								¥1,200,000			減額: 月単価0.83万円
	¥80,000							12								¥960,000		減額: 月単価0.41万円
企業 11~50人	¥120,000																	廃止: 月単価1万円
理事2口の制度は廃止	¥110,000	2								¥220,000								現行: 月単価0.91万円
	¥96,000		2								¥192,000							減額: 月単価0.8万円
	¥84,000			2								¥168,000						減額: 月単価0.7万円
	¥72,000				2								¥144,000					減額: 月単価0.6万円
	¥60,000					2								¥120,000				減額: 月単価0.5万円
	¥50,000						2								¥100,000			減額: 月単価0.4万円
	¥40,000							2								¥80,000		減額: 月単価0.3万円
	¥30,000								2								¥60,000	減額: 月単価0.2万円
企業 10人以下	¥60,000	0								¥0								現行: 月単価0.5万円
理事2口の制度は廃止	¥54,000		0								¥0							減額: 月単価0.45万円
	¥48,000			0								¥0						減額: 月単価0.4万円
	¥42,000				0								¥0					減額: 月単価0.35万円
														¥0				
															¥0			
																¥0		
																	¥0	
団体	¥200,000	10								¥2,000,000								現行維持
	¥180,000		10								¥1,800,000							減額: 月単価1.5万円
	¥150,000			10								¥1,500,000						減額: 月単価1.25万円
	¥144,000				10								¥1,300,000					減額: 月単価1万円
	¥130,000					10								¥1,200,000				減額: 月単価1.2万円
	¥120,000						10								¥1,200,000			減額: 月単価0.83万円
	¥110,000							10								¥1,100,000		減額: 月単価0.75万円
	¥100,000								10								¥1,000,000	減額: 月単価0.66万円
学術・教育	¥30,000	1	1	1	1	1	1	1	1	¥30,000	¥30,000	¥30,000	¥30,000	¥30,000	¥30,000	¥30,000	¥30,000	現行維持
個人	¥20,000	0	0	0	0	0	0	0	0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	現行維持
SUM										¥6,090,000	¥5,622,000	¥4,578,000	¥3,874,000	¥3,510,000	¥3,130,000	¥2,410,000	¥2,050,000	
										収入 I	収入 II	収入 III	収入 IV	収入 V	収入 VI	収入 VII	収入 VIII	

再掲) 支出

ABCD各パターン支出計

収支差(収入 I の場合)
収支差(収入 II の場合)
収支差(収入 III の場合)
収支差(収入 IV の場合)
収支差(収入 V の場合)
収支差(収入 VI の場合)
収支差(収入 VII の場合)
収支差(収入 VIII の場合)

支出A	支出B	支出C	支出D	
¥7,131,500	¥6,776,500	¥1,678,500	¥883,000	←支出パターンの検討結果より
↓	↓	↓	↓	
¥-1,041,500	¥-686,500	¥4,411,500	¥5,207,000	←自動計算の結果、マイナスは赤字表示
¥-1,509,500	¥-1,154,500	¥3,943,500	¥4,739,000	
¥-2,553,500	¥-2,198,500	¥2,899,500	¥3,695,000	
¥-3,257,500	¥-2,902,500	¥2,195,500	¥2,991,000	
¥-3,621,500	¥-3,266,500	¥1,831,500	¥2,627,000	
¥-4,001,500	¥-3,646,500	¥1,451,500	¥2,247,000	
¥-4,721,500	¥-4,366,500	¥731,500	¥1,527,000	
¥-5,081,500	¥-4,726,500	¥371,500	¥1,167,000	

※大和ハウスもあわせて「理事会員二口廃止」により支出Bとした場合は、支出はパターンBも241,500円の赤字となる

パターンごとのシナリオ設定(例として)

A	削減項目: (5) 表彰事業のWeb掲載作業(専任事務員が行う) (補助金委託時のみ制作を行う) →補助金の支援を含めれば現状と同様のコンテンツ制作も可能
B	削減項目: (5) 及び、会議開催に伴う場所代、印刷代など →Aに加え所在地等の普及センター内での登録、通信費、委員会・総会にかかる費用等における全費用の支援を外部で負担。卒設大賞廃止
C	削減項目: (2) 専任人件費及びそれに係る費用全体(選任事務局員廃止もしくは多機関所属事務局の無償派遣) 継続項目: (1)(3)~(5)の全て →団体として活動を継続する為の委員会開催・総会開催。日常業務は他団体への人的支援が得られる場合。もしくは人件費の支援が可能な場合
D	継続項目: (1)のサーバー維持、(5)の表彰事業の収蔵業務のみ →全ての事務業務等業務の他団体への支援が得られる場合(5)の表彰事業は外部委託※最小限の費用: 事務派遣等で負担した場合

■第11期補助金事業委託時の収入検討の部(会費設定シミュレート)

※第11期補助金事業300万追加の場合										支出A	支出B	支出C	支出D	
ABCD各パターン支出計										¥7,131,500	¥6,776,500	¥1,678,500	¥883,000	←支出パターンの検討結果より
各収入に補助金事業収入をプラス										¥3,000,000	¥3,000,000	¥3,000,000	¥3,000,000	
収支差(収入 I の場合)										¥1,958,500	¥2,313,500	¥7,411,500	¥8,207,000	
収支差(収入 II の場合)										¥1,490,500	¥1,845,500	¥6,943,500	¥7,739,000	※Web改修を補助金で行い、残り150万でコンテンツを制作
収支差(収入 III の場合)										¥446,500	¥801,500	¥5,899,500	¥6,695,000	
収支差(収入 IV の場合)										¥-257,500	¥97,500	¥5,195,500	¥5,991,000	

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム

第13期(2018-2019年)総会

開催日時 2019年8月23日(金)午前10時30分より午前11時30分
開催場所 公益財団法人 建築技術教育普及センター内 大会議室

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム(DAAS)

第13期(2018-2019年)総会次第

開催日時 2019年8月23日(金)午前10時30分より午前11時30分

開催場所 公益財団法人 建築技術教育普及センター内 大会議室

1 開会挨拶

竺 覚暁 建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム 理事長

2 来賓挨拶

● ●●●●●●● 様 ●●●●●●●●

3 議 事

議案1 第12期(2017-2018年)事業報告(案)及び収支決算(案)について

資料1 第12期(2017-2018年)事業報告(案)

資料2 第12期(2017-2018年)収支決算(案)

監査報告

資料3 監査報告書

議案2 第13期(2018-2019年)事業計画(案)及び収支予算(案)について

資料4 第13期(2018-2019年)事業計画(案)

資料5 第13期(2018-2019年)収支予算(案)

議案3 理事・監事選任の件

資料6 第13期・第14期 理事・監事名簿(案)

4 報 告

資料7 会員名簿変更について

資料8 規約第7条第4項に基づく指定代表者の変更について

5 閉 会

議案1 第12期(2017-2018年)事業報告(案)
及び収支決算(案)について

資料1 第12期(2017-2018年)事業報告(案)

資料2 第12期(2017-2018年)収支決算(案)

監査報告

資料3 監査報告書

DAASの今後について(各選択肢によるメリット・デメリットの整理) 別紙1

1. DAASの今後について(2018/7/6 打合せでの検討案)

前回の打合せでの提案事項「DAASの今後については、体制や移行先から検討するのではなく、行ってきた事業(サービス)の継続、もしくはサービスの選択から検討を行うこと」を前提として、それぞれの場合におけるメリット・デメリットについて整理を行った。

2. 当初の選択肢2案と追加案について

提案を受けた選択肢は以下2案。

A: DAASの事業を継続(国庫補助を見込まない)

B: 資料の永続的な保管場所のみ確保(優先)

ただし、整理にあたり、Aについてはコンソーシアム形式を継続する場合、もしくは解散する場合の2案、保管先については、文化庁、国土交通省もしくは関連団体・関連企業、の二つの選択肢があると想定し、AをA-1、A-2、BをB-1、B-2のと各々わけることとした。

A-1: コンソーシアム形式を継続し事業を継続

A-2: DAASを解散し他団体でDAAS事業を継続

B-1: 文化庁で資料を保管。(資料の永続的な保管場所のみ確保)

B-2: 国交省もしくは関連団体・機関で資料を保管(資料の永続的な保管場所のみ確保)

3. DAASの事業について(前回資料の再掲と一部追加説明を含む)

DAASの事業は以下①②③の3つに区分される。国庫補助を見込めない可能性が高いということから③はいづれの選択肢の場合も実施しない想定とする。

① [Webサイトの維持・運営]

- ・Webサイトが常時閲覧可能な状態を維持するためのウェブ管理

(事務局によるコンテンツの掲載・保守・管理のほか、Web制作会社へ委託しているサーバ管理、一部の複雑なコンテンツ掲載など)

- ・Webサイトの表示・機能等の改善(Web制作会社へ委託)

- ・Webコンテンツの著作権侵害防止へ向けた定期巡回・パトロールの実施

→コンテンツへ挿入した電子透かし(デジマーク)で、不正利用時の確認が可能
(デジマーク社と年間契約)

- ・Webサイトのドメイン管理(daas.jp)(年間契約・支払い処理)

② [国費でデジタル化・補整等のうえ収蔵した写真等コンテンツの高精細画像データ(RAWデータ)の運用・維持・保全]

- ・H17年度景観形成事業推進費による新建築社写真データを含む高詳細画像データをハードディスクへ保存し、事務局へ保管するとともに、これと同じデータを保存したハードディスクを民間の遠隔地保管サービスを利用して二重保管(冗長性の担保)

- ・美術館、雑誌社等から、高詳細画像データの二次利用許諾手続き(申し出受け入れ、著作者との著作権調整、支払い手続き等)

③ [新規コンテンツ制作]

- ・DAAS-Web用コンテンツ、高詳細画像データ等のコンテンツ制作

→写真・図面等のデジタルデータ制作(表彰作品等、一定の評価を受けた作品資料)

- 動画制作(建築家・研究者のインタビュー＝オーラルアーカイブ制作)
- 360度全天球型VRコンテンツ(解体される建物等の空間記録) など
- ・国庫補助を活用

4. メリット・デメリットの整理

前述の事業継続に主眼を置く[A-1]、[A-2]、資料保管を優先とする[B-1]、[B-2]の4つのパターンで、メリット・デメリットを整理する。

A-1. コンソーシアム形式を継続し事業を継続

- ・コンソーシアムに参画する会員の会費により上記事業①、②を継続。
- (つまり、DAAS-Webサイトの維持・運営、高詳細画像データの運用・維持・保全)
- ・想定される形式: DAASが任意団体のまま、現状を維持・継続という選択肢は否定的な意見が多く、法人格等を有する機関等が任意団体「DAAS」を維持・運営する方法が現実的と考えられる。

メリット	デメリット
[社会にとってのメリット] ・DAAS-Webをこれまで通り利用することが可能となり、収集したデジタル資料を、Web サイトを通して国内外に広く公開ができる。(公衆送信権はDAAS が許可を取得。) ・Web サイトを通じ資料の所在や著作者が明らかになる。 ・高解像度画像データを展示・雑誌・書籍等、二次利用が可能。(有償での資料提供も可能) ・システムが継続されることで、膨大なコンテンツのストックが可能	[社会にとってのデメリット]
[DAASメリット] ・団体、事業の継続が資料提供者、写真家等との信頼関係を継続することになり、今後のアーカイブの資料を収蔵する上で有効となる。 ・国主導で始まったプロジェクトの継続という信頼。	[DAASデメリット] ・任意団体のまま、団体としての権利義務が発生しない(契約の主体になれないため、活動や事業展開にあたり、一定の制約を受ける) ・メセナ的な活動は参加会員へのメリットが少なく、企業会員の減少、運用費の減少により、事業継続が困難。 ・事業③の国庫補助等の支援や、その他会員メリット、新たな事業展開等を検討する必要がある。 →実質的な活動が見られない団体への会員の支援は厳しい。(会員の意見) →補助金が打ち切りとなり国交省の支援がなけれ

	ば継続の承認が得られない。(会員の意見) ・著作権を保持していない状況では、二次利用、有償利用で運営費用を賄うことが不可能。 ・常駐職員がいなければ、運営が成り立たないため、常駐職員の人件費確保が必要。 ・常駐職員がいなければ、普及センター内に事務局を置けないため、別途事務局経費が発生。 ・コンソーシアムとしての運営、委員会、総会、理事会等の維持する体制が必要。
[DAAS 運営者メリット] ・同様の活動をする機関で運営を行えば、システムや資料の利活用により活動の幅が広がる可能性がある。 ・会員企業や団体との関係の構築や、連携等が見込める。 ・コンソーシアム会員による会費支援が継続され維持・運営する機関等の費用負担が軽減される。 ・支援組織の職員が DAAS へ兼務出向で常駐職員を置くことができれば、普及センターで継続して事務局を置くことが可能。床代(会議室等の付帯施設の利用も含)光熱費等の負担が軽減される。	
[その他] ・設立理念の継承(貴重な文化資産である建築資料のアーカイブという事業の継続、過去の資産を次世代に伝える、豊かな建築空間、景観、環境の形成に寄与する、等) ・建築界に大々的に呼びかけを行ってスタートしたプロジェクトの継続は、文化の継承、文化的意識の高さを示すことになると思われる。	

【課題】

- ・ コンソーシアム維持のための会員メリットの提供
- ・ 国交省の支援(国庫補助含む)の永続性
- ・ 安定的な運営を目指した「母体」となる団体や機関の確保
- ・ 著作権問題の整理。DAAS が主体的にコンテンツ流通を促すような活動ができるようにすること＝「資料の保全と有効活用という理念」、原資料保有者と利害相反が起きるという点を踏まえた、知財との協調&交渉それによる運営費用の確保。
- ・ 公開されている資料でも、それ以上の利用に関しては、著作権問題が残るため無償で利用できない。
(著作権期限:個人は死後 50 年、組織の場合公表後 50 年)

A-2 DAASを解散し他団体でDAAS事業を継続

- ・コンソーシアムを解散し、上記事業①、②を継続(この場合の「他団体」は、規約第51条に基づき類似の目的を有する公益団体への寄付。これによらない場合は規約改定が必要)
- ・法人格を有する機関へ完全統合あるいは完全内容(1機関の内にDAAS業務を行う部署が存在とするイメージ。①の事業承継によりDAASが受けた「DAAS-Web サイトでの公開許諾も承継される」ことが前提)

メリット	デメリット
[社会にとってのメリット] A-1に同じ	[社会にとってのデメリット] ・解散時、権利関係が再調整されるまで、DAAS-Web の公開は停止が必要(確認中)
[DAAS メリット] ・事務所経費が軽減される可能性。(移行先の負担) ・Web サイトを既に運営している機関であれば、事業①の Web サイト維持・運営費は圧縮可能。 ・DAAS の規約上、類似の目的を有する公益断定であれば資産は寄付、寄贈が可能。 ・受取先が法人であれば、運用に際し、日本建築センター(BCJ)と国で契約し、BCJ に未だ残るコンテンツバйдール契約「国の資料を活用」する権利の譲渡が可能。 ・その他(アーカイブス活動にあたり重要な)契約行為を、法人として締結できる環境を得られる。 ・経営基盤(経理的基礎、人材等)が安定するとともに法人格を得られる。	[DAAS デメリット] ・Web サイトは、母体となる組織次第でランニングコストが圧縮される可能性もあるが、移行を見据えた改修、改善等の費用、初期投資が必要 ・解散時の権利調整、著作者への連絡が必要。 ・解散時、建築界に大々的に呼びかけを行ってスタートしたプロジェクトが継続できなかったことへの会員説明等が必要。
[運営者メリット] ・コンソーシアム解散となれば、これまでの体制、委員会、総会、理事会等を維持する必要がなくなる。事務局業務・経費の負担が軽減される。	[運営者デメリット] ・コンソーシアム形式が維持されない場合、会員による会費支援＝運営費確保が実現出来なくなる。 ・事務所経費／人件費／Web サイトの維持・運営費等々の負担 ・現状事務所を置く普及センターが床代(会議室・作業資料の資料庫も含め)光熱費を負担しているが、職員がいない場合は事務局を置けず、事務所経費等が発生する。

【課題】

- ・ A-1 同様、安定的運営のための「母体」となる団体、機関の確保
- ・ A-1 同様、国庫補助等の永続性
- ・ A-1 同様、著作権問題の整理。DAAS が主体的にコンテンツ流通を促すような活動ができるようにすること＝「資料の保全と有効活用という理念」、原資料保有者と利害相反が起きるという点を踏まえた、知財との協調&交渉それによる運営費用の確保。

- ・ **A-1** 同様、資料が公開されていても、それ以上の利用に関して、著作権問題は残る為無償で利用はできない。(著作権期限:個人は死後 50 年、組織の場合公表後 50 年)
- ・ 解散時、会員として 10 年以上支援頂いた企業・団体への説明が必要となる。
- ・ 会費以外での運営費の確保。
- ・ DAAS から他組織へ運営統合、移行など呼びかけ・交渉を行っても実現していない。(普及センターも同様。その他、建築研究開発コンソーシアム、土木学会、日本建築学会、等々の名前があがるも、実現していない。※大学、学会等は維持費用も多少見込めなければ移行は厳しいとの見解)

B-1:文化庁で資料を保管。(資料の永続的な保管場所のみ確保)

- ・ 上記事業①、③を実施せず、②の運用を除いた維持・保全のみを実施
(つまり国費整備による高詳細画像データを保管したハードディスクの二重保管のみの事業。)
- ・ 美術館等からの二次利用許諾手続きには応じられないことを想定とする。
- ・ この場合、会員の意見により、実質的な活動が見られない場合は支援が困難としてコンソーシアムの解散を選択するという前提とする。

メリット	デメリット
[社会にとってのメリット] ・ 保管場所が安定して存在すれば、貴重な資料を後世に残すことが可能 ・ 著作権が切れば資料の利活用が実現。	[社会にとってのデメリット] ・ データが公開されていないため、資料内容や所在が明らかにならない可能性や死滅の可能性がある。 ・ 二次利用の希望者が資料にアクセスする方法がない。※資料の一覧等のみ表示する機能をどこかに持たせるという方法もあり得る。
[DAAS メリット] ・ データの維持・保管のみとなり費用が軽減される (保管だけであれば、数年単位のデータ形式のメンテナンス、HDD の入れ替え等のみ※現状 2TBor 3TB の HDD1 台程度) ・ 企業、団体の会費負担がなくなる。 ・ 著作権が切れる時期を明確にし、その時期まで保管すれば、資料の利活用が実現する。	[DAAS デメリット] ・ 解散時、著作者への連絡、権利調整が必要となる場合がある。 ・ 解散の場合、建築界に大々的に呼びかけを行ってスタートしたプロジェクトが継続できなかったことへの会員への説明が必要。
[運営者メリット] ・ 著作権が切れば資料の利活用が可能 ・ その他資料と併せて「近現代」の貴重な資料のストックが実現する	[運営者デメリット] ・ 著作権が切れるまでは、運用もできない。保管庫という状態。 ・ 利活用、運用できない期間も、HDD、データ形式等のメンテナンスの必要がある。

【課題】

- ・ **A-1**、**A-2** 同様の DAAS から資料の永続的保管先に対して呼びかけや交渉を行っても、実現できていない。(保管先として、文化庁 近現代建築資料館、国交省、その他関連団体などが考えられる。)

- ・ 運営面について、現状、文化庁の一部署が運営を担っているが、今後の運営体制、運営者が変更される可能性がある。(独立行政法人等での運営に変更される、等見通しがたっていない。変更時の予算等に着いても見通しはたない可能性がある)

B-2: 国交省もしくは関連団体・機関で資料を保管(資料の永続的な保管場所のみ確保)

- ・ 上記事業①、③を実施せず、②の運用を除いた維持・保全のみを実施
(つまり国費整備による高詳細画像データを保管したハードディスクの二重保管のみの事業。)
- ・ 美術館等からの二次利用許諾手続きには応じられないことを想定とする。
- ・ この場合、会員の意見により、実質的な活動が見られない場合は支援が困難としてコンソーシアムの解散を選択するという前提とする。

メリット	デメリット
[社会にとってのメリット] B-1に同じ	[社会にとってのデメリット] B-1に同じ ・ 資料の利活用について、美術館、研究所等で、対応部署がない場合、著作権がきれた場合も二次利用が出来ない。
[DAAS メリット][運営者メリット] B-1に同じ	[DAAS デメリット][運営者デメリット] B-1に同じ

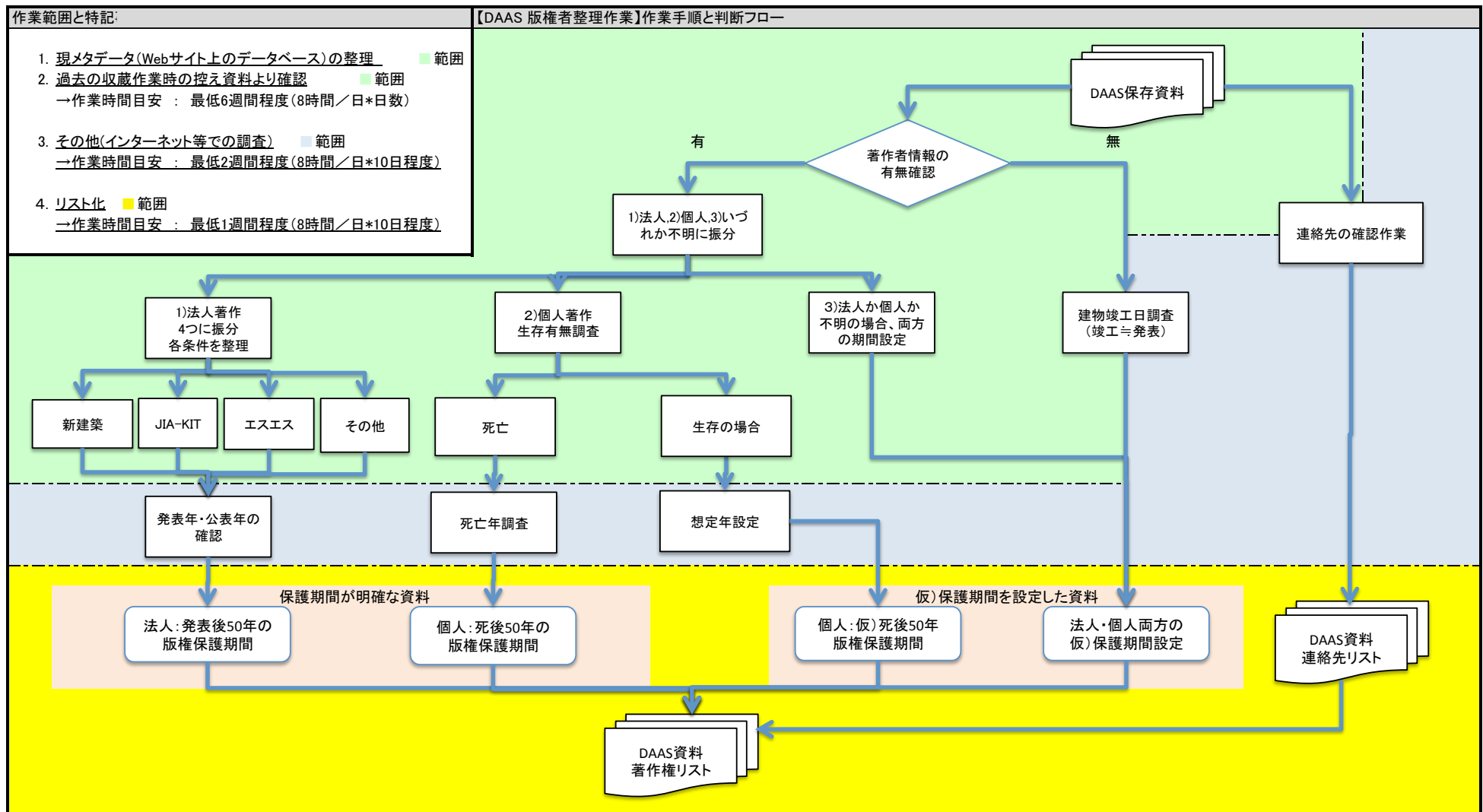
【課題】

- ・ A-1、A-2同様の DAAS から資料の永続的保管先に対して呼びかけや交渉を行っても、実現できていない。
- ・

【まとめ】

メリット・デメリットは、コンソーシアムの形式の維持が出来るか(A-1の場合)、解散となるか、(A-2の場合)で相反する場合があるが、課題については、共通するものと考えられる。

以上



目標・目的

- ・ 著作権保護期限の明確化(個人の場合、死後50年の想定 法人の場合は発表後50年の設定)※来年以降は70年に変更の予定
法人著作か、個人著作かを整理する
法人の場合の保護期間 発表年+50年保護期間 を設定
個人の場合 死後50年と設定(生存している場合は仮定で設定)
- ・ 著作者連絡先の明確化
- ・ 法人著作か個人著作か明確でないもの、保護期限が明確でないものの(仮)期限の設定
法人の場合: 竣工≒発表年を設定
個人の場合 竣工日(仮に30歳で撮影とし100歳で死亡と仮定→)+70年後>著作権保護期間と設定

参考数字	法人権利とわかっているもの(新建築JIA以外)	236
	新建築	7,587
	JIA-KIT	1,068
	個人権利と思われるモノ	1,021
	法人・個人いずれの権利か不明のモノ	2,015
	小計	11,927
	写真がなかったもの	789
		12,717

作業内容			作業進捗				備考	
作業詳細			作業対象数	作業数終了数	進捗率(%)	作業時間		
1.著作者整理	データベース整理【合計】			11,927	11,927	100%	-	所要日数:リスト作成とあわせて6週間程度
	対象法人・個人内訳	法人分	新建築社分	7,593	7,593	64%		
			JIA-KITアーカイブス	1,068	1,068	9%		
			エスエス	288	288	2%		
			その他法人資料	231	231	2%		
		個人分	個人写真家	999	999	8%		
			海外の写真家	23	23	0%		
		その他	法人・個人 いづれの著作かわからない資料	1,388	1,388	12%		
			撮影者不明分	338	338	3%		
	著作者振り分けリスト作成【合計】			11,927	11,927	100%	-	
2.連絡先整理	データベース整理【合計】			11,927	8,949	75%		
	対象法人・個人内訳	法人分	新建築社分	7,593	7,593	64%	-	
			JIA-KITアーカイブス	1,068	1,068	9%	-	
			エスエス	288	288	2%	-	
			その他法人資料		0	0%		
		個人分	個人写真家		0	0%		
			海外の写真家		0	0%		
		その他	法人・個人 いづれの著作かわからない資料		0	0%		
			撮影者不明分	-	-	-	-	
3.保護期限/仮保護期間設定	期限設定【合計】			11,927	6,163	52%		法人:作業終了分は新建築社分の一部 (データベース作成時、掲載号が記載されていた為、発表年がわかりやすい) 個人:写真家 今後の作業時間については不明
	作業内容	データベースから	発表年確認分(法人著作分)		6,005	0%		
			竣工年確認分(法人著作分)		9	0%		
		調査(インターネット)	建物の竣工年調査		0	0%		
			個人写真家の生存有無		149	0%		
		仮保護期間の設定	ルールを設定し仮期間の設定		0	0%		
4.以上の1～3の情報をリスト化	連絡先リスト作成					0%		
	保護期間及び(仮)保護期間リスト作成					0%		

第 12 期 (2017-2018 年) 事業報告 (案)

1. 概要

予算縮小という厳しい状況の中、基本活動の「Web サイト等基本システムの維持・管理」「収蔵データの維持・保全」及び、国庫補助金を活用した「コンテンツ拡充」「Web サイト改修」「建築情報(データベース)の精度向上」においては、昨年度までと同等の事業成果をあげた。喫緊の課題である、今後の運営方針・運営体制については連携先の検討も含め関係箇所との調整をすすめている。

2. 事業実施状況

(1) Web サイト等基本システムの維持・管理

サーバ保守業者によるサーバ OS、周辺アプリケーションの定期的な更新やサーバ環境のセキュリティ対策等々、これまでの体制を維持継続している。

(2) 収蔵データの維持・保全

DAAS の資産の一つ「高精細画像データ」の破損と消失を防ぐことを目的として、事務局内保管と、データ保管専門業者の遠隔地のデータ保管サービスの併用を継続して行っている。

また「データの維持・保全」として、建築情報データベースの精度向上を目的としたデータの修正作業を継続し、特に建物の緯度経度による位置情報、建物作品の現況情報(現存・解体 等)、検索性向上を目的とした検索キーワードの付与等、情報の改善につとめている。建築情報の変更を簡便にするための管理システムの改修も実装した。

(1)及び本事業はデジタルアーカイブの基本活動であるため、今後も予算を優先的に確保し継続する。

(3) 運営基盤の安定化にむけた検討

第 12 期では、第11期までに検討を行ってきた事項の実現のため、以下の整理、関係先への相談等々を行った。別紙1

① 現状整理

(ア) 会員の状況、収入、予算見込み

(イ) 今後の選択肢の整理

(ウ) 資料の著作権状況の整理

② 体制の検討

(ア) 合併、統合、事業譲渡、等を含めた関係先の検討

(4) コンテンツの整備

動画収録、デジタルデータ作成

Web コンテンツ作成等業務の受託により(国庫補助金 300 万円)新規コンテンツ制作を行った。第 12 期の成果については別紙2にて詳細を報告する。

なお、本受託業務におけるコンテンツの整備は、実施年度と DAAS の事業年度が一致しないことから、第 13 期継続事業として進める。

[第 13 期コンテンツ整備事業(継続事業)]

- ・動画収録(DAAS 収蔵作品の建築家、写真家等)
- ・VR(ヴァーチャルリアリティ)を利用した空間画像データ
- ・アライアンス関係にある JIA-KIT 建築アーカイヴスが保管する図面資料のデジタルデータ化作業

(5) Web サイトの改善

新規コンテンツ収蔵((4)で制作したコンテンツ)に必要な新規ページの制作と(2)の収蔵データ維持にかかるシステム改修を行った。また Web サイトの資料の検索のしやすさ、画面の見やすさを検討し、システムの改善を行っている。主な改修事項としては以下

- ・一覧写真のサムネイル数の変更 表示内容の変更
- ・詳細情報画面の写真データの表示方法(縦スクロールからボタンによる表示切り替えに変更)
- ・管理システムの変更(情報変更画面の改修・サジェスチョン検索ワードの登録、等(2)再掲)

「(4)新規コンテンツの整備」と連動し、第 13 期継続事業とする。

(6) その他

① オープンアライアンス活動

(オープンアライアンスとは、同じ目的を持つ異なる企業・団体が組織の枠組みを超え、知識、技術、等を協力した状態で活動すること)

これまで JIA-KIT 建築アーカイヴスの保存する物理的資料(図面・写真・フィルム等)のデジタル化において DAAS が作業を行うなど、継続的にアライアンス活動をおこなってきた。第 12 期は(4)の事業に於いて DAAS がデジタル化作業を実施した図面の所有者が収蔵先を検討していた為、同アーカイヴスを紹介。管理体制が万全であり、十分な保管場所が確保され、資料が一括で保管されるという点が所有者にとって利点であったことから、資料は同アーカイヴスに収蔵されることとなった。同資料のデジタル化作業は引き続き DAAS で行うことを検討している。

②その他 DAAS の目的に資する活動状況

1)有償利用について

第 12 期における収蔵データの利用については国内から 4 件、海外から 1 件(その他 1 件は保留中)合計 5 件の申し込みがあった。

利用目的は展示、書籍掲載などである。いずれも設立時褪色補正をした高精細画

像、60-70 年代の建築作品に関する写真データの申込みであった。海外からは DAAS-Web サイトを通しての問い合わせを受けた。

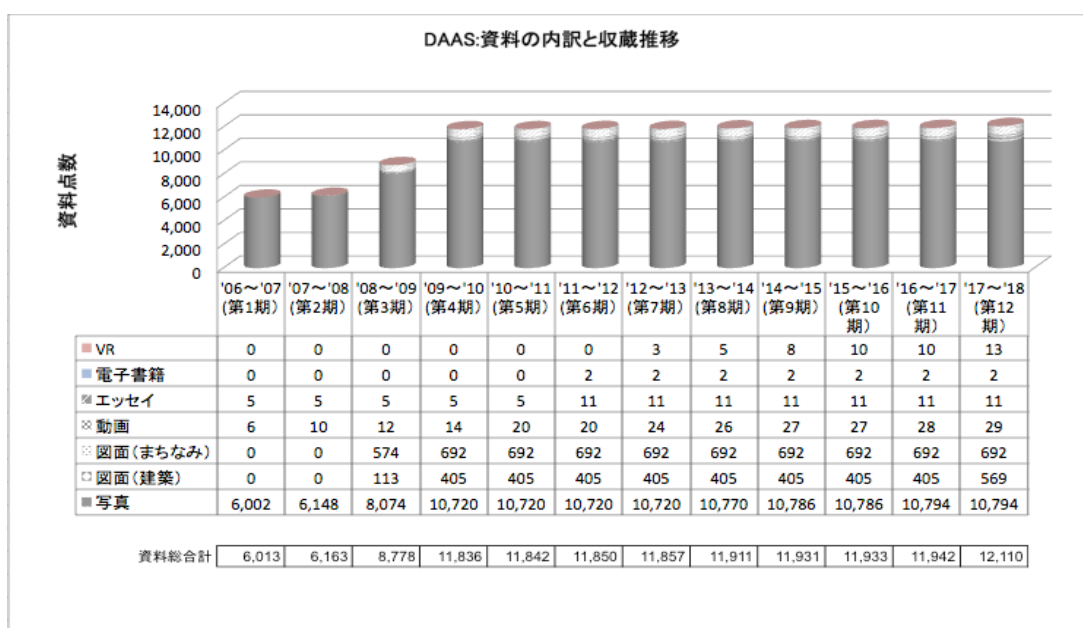
- 長谷工ミュージアム
- 森美術館
- 国際文化会館
- 一般財団法人日本建築センター
- Swarthmore College

海外からの申込みは日本の建築史を専攻する大学関係者からの紹介、DAAS を利用した米国の建築史家から紹介を受けたドイツの雑誌社からの問い合わせなど「日本の近代建築」に関わるの方の間で DAAS-Web サイトの利用が少しずつ増えている状況伺える申込みであった。

● 設立から第 12 期までの DAAS の活動と登録者、閲覧者数の推移(報告)

①資料収蔵数推移(累計)

2011 年 UIA 大会以後の第 6 期からは団体会員の協力による表彰作品資料の収蔵数と国庫補助金の活用による動画、VR の収蔵、図面のデジタルデータ化など、少しずつではあるが、資料数を伸ばしている。

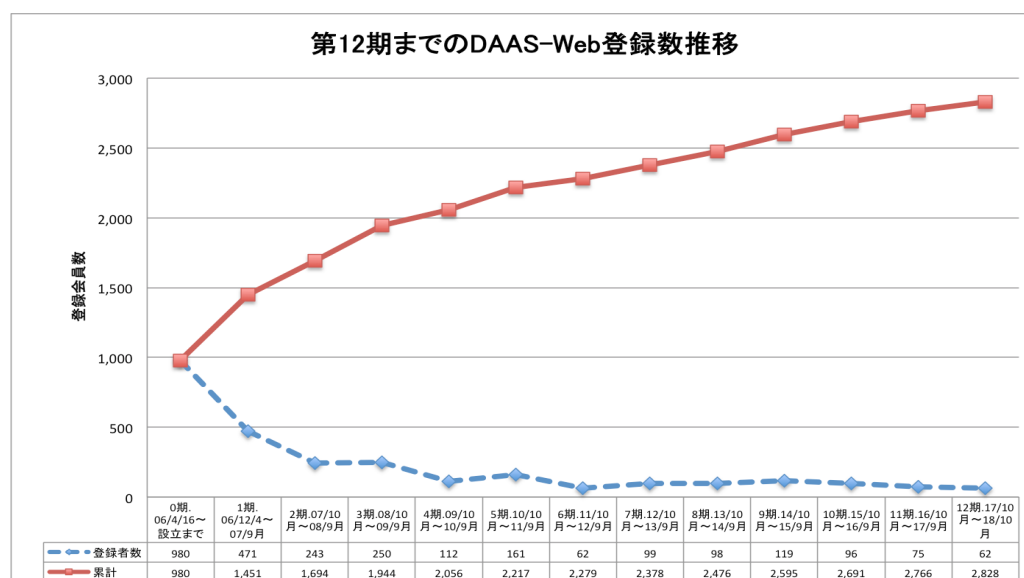
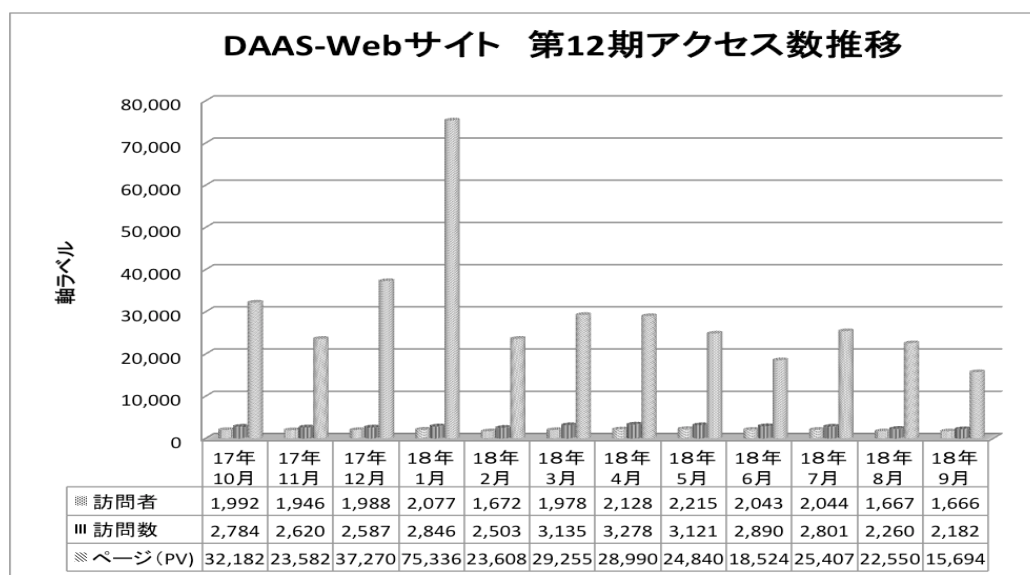


②Web サイトアクセス数推移及び、DAAS-Web サイト登録者数推移(累計グラフは次ページを参照)

(表内「訪問者数」に対し「訪問数」は「延べ数(同一 IP からのアクセス数)」である。)

第 12 期累計としては訪問者 23,416 人、延べ訪問数 33,007 人となり、第 11 期訪問者総数 21,839 人、延訪問数 32,480 人と比較して、訪問者数、ページビュー共に増加している。登録者数についての大きな伸びはみられないが、訪問数が伸びていることからリピーターの利用が多いと予想される。

近年国費にてコンテンツが制作されていること、また動画コンテンツは年々変化するファイル形式の管理の簡便さから Youtube の利用をすすめていることなどの理由から、今期より Web サイトの会員登録やログインなしでの閲覧を可能とした。併せて読み物コンテンツや VR の閲覧も登録・ログインを不要とした。ただし、写真・図面資料の閲覧は、資料提供者への配慮とセキュリティの観点から、これまでと同様、会員登録を必要としている。このため新規登録については、写真閲覧目的のための登録ということになる。DAASの収蔵する資料や動画コンテンツの「建築家の声」は、60-70年代の建物を対象としたものが多い。それらは近年取壊しの危機に直面している。動画コンテンツ内の建築家の「声」を SNS で発信し、取り壊しの危機にある建物の設計当時の「建築家の思い」を伝えることも微力ながら行っている。半年ほど前に掲載した菊竹清訓氏の出雲大社庁の社の該当箇所を編集した短編版を facebook で紹介したところ再生回数が 300 回を超えた。また、宮城大学では課題に関連して、DAAS の動画を利用している。コンテンツを活かす方法を今後も検討していきたい。



第12期(2017-2018年)収支計算書(案)

2017年10月1日から2018年9月30日まで

(単位:円)

科目	予定額(a)	決算額(b)	差異(a-b)
I 事業活動収支の部			
事業活動収入			
1 会費・入会金収入	6,090,000	5,980,000	110,000
企業会員	4,060,000	3,950,000	110,000
団体会員	2,000,000	2,000,000	0
学術・教育機関会員	30,000	30,000	0
個人会員	0	0	0
2 事業収入	3,050,000	3,079,880	△ 29,880
Webコンテンツ作成事業※	3,000,000	3,000,000	0
コンテンツ有償利用料	50,000	79,880	△ 29,880
3 その他収入	0	1,228	△ 1,228
受取利息	0	1,228	△ 1,228
雑収入	0	0	0
事業活動収入 計	9,140,000	9,061,108	78,892
事業活動支出			0
1 事業費支出	4,520,000	4,718,721	△ 198,721
WEBサイト改修委託支出	550,000	0	550,000
イベント事業支出	0	0	0
コンテンツ整備事業支出	100,000	871,769	△ 771,769
サーバ管理委託費	870,000	846,952	23,048
Webコンテンツ作成事業/Web改修費用※	880,000	108,000	772,000
Webコンテンツ作成事業/VR制作費用※	440,000	648,000	△ 208,000
Webコンテンツ作成事業/オーラルアーカイブ制作※	1,200,000	798,440	401,560
Webコンテンツ作成事業/表彰事業整備・コンテンツ制作※	300,000	1,409,861	△ 1,109,861
Webコンテンツ作成事業/その他経費※	180,000	35,699	144,301
広報事業	0	0	0
保守費支出	0	0	0
2 管理費支出	6,008,000	5,917,759	90,241
事務所経費	0	0	0
人件費	4,080,000	4,080,000	0
法定福利費	700,000	821,451	△ 121,451
旅費交通費支出	230,000	241,702	△ 11,702
機材費支出	50,000	66,777	△ 16,777
通信運搬費支出	250,000	249,323	677
渉外費支出	0	0	0
会議費(含総会)支出	465,000	158,759	306,241
租税公課支出	0	0	0
会計士外部委託費支出	173,000	172,800	200
雑費支出	60,000	126,947	△ 66,947
事業活動支出 計	10,528,000	10,636,480	△ 108,480
事業活動収支差額	△ 1,388,000	△ 1,575,372	187,372
II 投資活動収支の部			0
投資活動収入			0
修繕引当預金取崩収入		0	0
その他固定資産取得収入		0	0
投資活動収入 計		0	0
投資活動支出			0
修繕引当預金取得支出		0	0
その他固定資産取得支出		0	0
投資活動支出 計		0	0
投資活動収支差額		0	0
III 財務活動収支の部			0
財務活動収支差額		0	0
IV 予備費支出			0
予備費支出	3,859,022	0	3,859,022
当期収支差額	△ 5,247,022	△ 1,575,372	△ 3,671,650
前期繰越収支差額	5,247,022	5,247,022	0
次期繰越収支差額	0	3,671,650	△ 3,671,650

※一般社団法人すまいづくりまちづくりセンター連合会が実施した「優れた住宅・建築物のデジタルアーカイブスのWebコンテンツの作成等業務」を受託

第37回運営委員会での修正項目

第12期 決算書(案)修正項目(第37回運営委員会提出以降訂正分)

	(修正後)	(修正前)
1 事業費支出		
コンテンツ整備事業支出	<u>871,769</u>	587,117 ※補助金事業締め切り後の費用を追加
サーバ管理委託費	<u>846,952</u>	792,952
2 管理費支出		
機材費支出	<u>66,777</u>	16,232 ※補助金事業締め切り後の費用を他項目に振分
通信運搬費支出	<u>249,323</u>	306,517
会議費(含総会)支出	<u>158,759</u>	144,356
雑費支出	<u>126,947</u>	475,513

監 査 報 告 書

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム規約第 15 条第 4 項の規定に基づき、建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアムの第 12 期(2017-2018 年度 2017 年 10 月 1 日から 2018 年 9 月 30 日まで)の業務報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録について監査を行った結果、正確かつ適正であることを認めます

2019 年 7 月 1 日

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム監事

一般社団法人 住宅生産団体連合会 会長

阿部 俊則



2019 年 7 月 2 日

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム監事

一般財団法人 日本建築センター 理事長

橋本 公博



議案2 第13期(2018-2019年)事業計画(案)
及び収支予算(案)について

資料4 第13期(2018-2019年)事業計画(案)

資料5 第13期(2018-2019年)収支予算(案)

第13期(2018-2019年)事業計画(案)

1. 基本方針

DAASの基本活動の「Webサイト等基本システムの維持・管理」、「収蔵データの維持・保全」を通じて、公益的活動を継続する。活動にあたり、運営委員会の下に設置した「企画運営部会」の検討により事業を推進し、コンソーシアム運営について委員会等での議論を重ね、具体的な方針を示す。なお、第12期からの継続事業については、第13期での実施を目指す。

2. 事業計画

(1) Webサイト等基本システムの維持・管理

DAAS-Webサイト、DAAS基本システムの安定的な稼働体制を維持・継続する。サーバ保守業者による、サーバOS、周辺アプリケーションのセキュリティー対策プログラムを定期的に適用し、引き続きサーバ環境のセキュリティー対策を行う。

(2) 収蔵データの維持・保全

「高精細画像データ」の事務局内保管分及び、遠隔地保管によるさらなる冗長性を確保する体制を継続する。新規収蔵コンテンツがあった場合には、同様の維持・保全措置を講ずる。

(3) 「企画運営部会」を中心とした事業推進と、運営体制安定化・強化策等に係る検討

「企画運営部会」を中心とした事業推進、運営委員会との連携、今後のDAAS活動に資する検討や、一層の運営基盤安定化検討へ向けた体制を確立する。

① 運営基盤の安定化方策検討(継続)

(ア) 今後の運営方針の選択肢検討

(イ) 他機関との連携に関する事項、等

② 事業計画に基づく事業実施や企画検討

③ その他、運営委員会承認事項の事前検討 等

(4) コンテンツの整備

動画収録、デジタルデータ作成

第11期同様、国庫補助金を活用したコンテンツを整備する。対象コンテンツは「企画運営部会」において検討するものとし、予算、納期等を考慮しつつ、実施可能なものから具体作業に着手する。

[前期より継続:コンテンツ整備事業(予定)※企画運営部会にて継続検討]

・団体等受賞作品の収蔵

・動画収録(DAAS収蔵作品の建築家、写真家等)

・VR(ヴァーチャルリアリティ)を利用した空間画像データ

(5) Web サイトの改善

新規コンテンツ収蔵に必要な機能追加、検索機能の改善のための機能追加を実施。

「(4)新規コンテンツの整備」と連動し、第 11 期よりの継続事業とする。

(6) その他

①DAAS 認知度向上等へ向けた広報等に係る活動

②その他 DAAS の目的に資する活動を実施する。

第13期(2018-2019年) 収支予算(案)

2018年10月1日から 2019年9月30日まで

(単位:円)

科目	予算額	参考:第12期予算額	第12期との差異
I. 事業活動収支の部			
事業活動収入			
1. 会費・入会金収入	5,660,000	6,090,000	▲ 430,000
企業会員	3,630,000	4,060,000	▲ 430,000
団体会員	2,000,000	2,000,000	0
学術・教育機関会員	30,000	30,000	0
個人会員	0	0	0
2. 事業収入	3,050,000	3,050,000	0
Webコンテンツ作成事業	3,000,000	3,000,000	0
コンテンツ有償利用料	50,000	50,000	0
3. その他収入	0	0	0
受取利息	0	0	0
雑収入	0	0	0
事業活動収入計	8,710,000	9,140,000	▲ 430,000
事業活動支出			
1. 事業費支出	4,520,000	4,520,000	0
WEBサイト改修委託支出	550,000	550,000	0
イベント事業支出	0	0	0
コンテンツ整備事業支出	100,000	100,000	0
サーバ管理委託費	870,000	870,000	0
Webコンテンツ作成事業/Web改修費用	880,000	880,000	0
Webコンテンツ作成事業/VR制作費用	440,000	440,000	0
Webコンテンツ作成事業/オーラルアーカイブ制作	500,000	1,200,000	△ 700,000
Webコンテンツ作成事業/表彰事業整備とコンテンツ制作	800,000	300,000	500,000
Webコンテンツ作成事業/その他経費	380,000	180,000	200,000
広報事業	0	0	0
2. 管理費支出	5,953,000	6,008,000	△ 55,000
事務所経費	0	0	0
人件費	4,080,000	4,080,000	0
法定福利費	830,000	700,000	130,000
旅費交通費支出	240,000	230,000	10,000
機材費支出	50,000	50,000	0
通信運搬費支出	250,000	250,000	0
渉外費支出	0	0	0
会議費(含総会)支出	180,000	465,000	△ 285,000
租税公課支出	0	0	0
会計士外部委託費支出	173,000	173,000	0
雑費支出	150,000	60,000	90,000
事業活動支出計	10,473,000	10,528,000	△ 55,000
事業活動収支差額	△ 1,763,000	△ 1,388,000	△ 375,000
II. 投資活動収支の部			
投資活動収入			
修繕引当預金取崩収入	0	0	0
その他固定資産取得収入	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
投資活動支出			
修繕引当預金取得支出	0	0	0
その他固定資産取得支出	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III. 財務活動収支の部			
財務活動収支差額			
財務活動収支差額	0	0	0
IV. 予備費支出			
予備費支出	1,908,650	3,859,022	△ 1,950,372
当期収支差額	△ 3,671,650	△ 5,247,022	1,575,372
前期繰越収支差額	3,671,650	5,247,022	△ 1,575,372
次期繰越収支差額	0	0	0

注)この予算書は消費税込みで計算しております

第13期 予算(案)修正項目(第37回運営委員会提出以降訂正分)

2 管理費支出	(修正後)	(修正前)
旅費交通費支出	240,000	230,000
会議費(含総会)支出	180,000	250,000
雑費支出	150,000	100,000

議案3 理事・監事選任の件

資料6 第13期・第14期 理事・監事名簿(案)

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム (DAAS)
第13期・第14期 理事・監事名簿

(順不同 敬称略)

■理 事

六鹿 正治 (公益社団法人 日本建築家協会 会長)
井上 勝徳 (公益財団法人 建築技術教育普及センター 理事長)
竹脇 出 (一般社団法人 日本建築学会 会長)
三井所 清典 (公益社団法人 日本建築士会連合会 会長)
佐々木 宏幸 (一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会 会長)
押味 至一 (一般社団法人 日本建設業連合会 副会長)
隈 研吾 (建築家)
難波 和彦 (建築家)
仙田 満 (環境デザイン研究所 会長)
亀井 忠夫 (株式会社 日建設計 代表取締役社長)
千鳥 義典 (株式会社 日本設計 取締役社長)
吉田 信之 (株式会社 新建築社 代表取締役)
南川 陽信 (大和ハウス工業株式会社 執行役員 流通店舗事業推進部 設計施工推進部)

■監 事

阿部 俊則 (一般社団法人 住宅生産団体連合会 会長)
橋本 公博 (一般財団法人 日本建築センター 理事長)

報 告

資料7 会員名簿変更について

資料8 規約第7条第4項に基づく指定代表者の
変更について

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム (DAAS)
会員名簿

(順不同 敬称略)

槇 文彦 (建築家)
 仙田 満 (建築家)
 竺 覚暁 (金沢工業大学教授 金沢工業大学建築アーカイブス研究所顧問)
 隈 研吾 (建築家)
 難波 和彦 (建築家)
 竹脇 出 (一般社団法人 日本建築学会 会長)
 三井所 清典 (公益社団法人 日本建築士会連合会 会長)
 佐々木 宏幸 (一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会 会長)
 六鹿 正治 (公益社団法人 日本建築家協会 会長)
 押味 至一 (一般社団法人 日本建設業連合会 副会長)
 阿部 俊則 (一般社団法人 住宅生産団体連合会 会長)
 橋本 公博 (一般財団法人 日本建築センター 理事長)
 井上 俊之 (一般財団法人 ベターリビング 理事長)
 吉田 信之 (株式会社 新建築社 代表取締役)
 清水 琢三 (五洋建設株式会社 代表取締役 社長)
 山口 俊男 (株式会社 奥村組 取締役専務執行役員)
 千鳥 義典 (株式会社 日本設計 代表取締役 社長)
 成川 哲夫 (新日鉄興和不動産株式会社 取締役相談役)
 小涌 雅人 (前田建設工業株式会社 建築事業本部 建築設計統轄部長)
 栗山 茂樹 (清水建設株式会社 専務執行役員 設計本部長)
 内山 和哉 (積水ハウス株式会社 常務執行役員 東京支社長)
 河野 晴彦 (大成建設株式会社 専務執行役員 設計本部長)
 川合 智明 (株式会社 竹中工務店 執行役員 設計本部長)
 亀井 忠夫 (株式会社 日建設計 代表取締役社長)
 賀持 剛一 (株式会社 大林組 執行役員 設計本部長)
 尾崎 勝 (鹿島建設株式会社 専務執行役員 建築設計本部長)
 副島 伸一 (住友不動産株式会社 東京東ビル事業部長)
 藤田 秀夫 (株式会社 山下設計 代表取締役社長)
 大堀 正博 (三井不動産株式会社 建設企画部長)
 碓氷 辰男 (東京建物株式会社 常務取締役)
 村井 純 (慶應義塾大学 環境情報学部長)
 近藤 伸彦 (株式会社 日建学院 代表取締役社長)
 南川 陽信 (大和ハウス工業株式会社 上席執行役員 技術本部住宅系設計推進部長)
 森高 英夫 (一般社団法人 日本建築構造技術者協会 会長)
 井上 勝徳 (公益財団法人 建築技術教育普及センター 理事長)
 野部 達夫 (一般社団法人 建築設備技術者協会 会長)

2019 年 7 月改訂

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム（DAAS）法人会員指定代表者変更

(建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム規約 第7条第4項 関係)

(敬称略)

■ 企業会員

前田建設工業株式会社

〈変更前〉 鈴木 章夫（執行役員 建築事業本部 企画・開発設計部長）

〈変更後〉 小涌 雅人（建築事業本部 建築設計統轄部長）

株式会社大林組

〈変更前〉 山本 朋生（執行役員 設計本部長）

〈変更後〉 賀持 剛一（執行役員 設計本部長）

株式会社日建学院

〈変更前〉 西生 一次（代表取締役社長）

〈変更後〉 近藤 伸彦（代表取締役社長）

大和ハウス工業株式会社

〈変更前〉 南川 陽信（執行役員 技術本部住宅系設計推進部長）

〈変更後〉 南川 陽信（上席執行役員 技術本部住宅系設計推進部長）

■ 団体会員

一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会

〈変更前〉 佐野 吉彦（会長）

〈変更後〉 佐々木 宏幸（会長）

一般社団法人 住宅生産団体連合会

〈変更前〉 和田 勇（会長）

〈変更後〉 阿部 俊則（会長）

公益財団法人 日本建築技術教育普及センター

〈変更前〉 鈴木 眞生（理事長）

〈変更後〉 井上 勝徳（理事長）

■ 学術会員

一般社団法人 建築学会

〈変更前〉 古谷 誠章（会長）

〈変更後〉 竹脇 出（会長）

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム

第6回 理事会

開催日時	2019年8月23日(金) 11:30~12:00
開催場所	公益財団法人 建築技術教育普及センター内 大会議室

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム(DAAS)

第6回理事会次第

開催日時 2019年8月23日(金) 11:30~12:00
開催場所 公益財団法人 建築技術教育普及センター内 大会議室

1 開 会

2 議 事

議案1 役員選任の件(会長・理事長・副理事長)

3 閉 会

議案1 役員選任の件
(会長・理事長・副理事長)

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム（DAAS）
第13期・第14期 役員名簿(案)

(順不同 敬称略)

■理事長

仙田 満（環境デザイン研究所 会長）

■副理事長

井上 勝徳（公益財団法人 建築技術教育普及センター 理事長）
竹脇 出（一般社団法人 日本建築学会 会長）

■監 事

阿部 俊則（一般社団法人 住宅生産団体連合会 会長）
橋本 公博（一般財団法人 日本建築センター 理事長）

■理 事

六鹿 正治（公益社団法人 日本建築家協会 会長）
押味 至一（一般社団法人 日本建設業連合会 副会長）
三井所 清典（公益社団法人 日本建築士会連合会 会長）
佐々木 宏幸（一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会 会長）
隈 研吾（建築家）
難波 和彦（建築家）
千鳥 義典（株式会社 日本設計 取締役社長）
亀井 忠夫（株式会社 日建設計 代表取締役社長）
吉田 信之（株式会社 新建築社 代表取締役）
南川 陽信（大和ハウス工業株式会社 上席執行役員 流通店舗事業推進部 設計施工推進部）

■会 長

槇 文彦（建築家）

■顧 問

村井 純（慶應義塾大学 環境情報学部長）
竺 覚暁（金沢工業大学教授 金沢工業大学建築アーカイヴス研究所顧問）